

---

# 提 案 書

令和7年度広島県予算について

広島県 呉市



本市の行政施策の推進につきましては、かねてより格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和7年度予算編成及び施策の決定に当たり、次の主要事業に対し、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月

呉市長 新原 芳明

呉市議会議長 中田 光政



## 目 次

### 【産業等関係】

- 1 日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の休止に伴う支援…………… 1  
【商工労働局】
- 2 呉市総合スポーツセンターの施設移転・再配置及び  
企業用地への転換に係る支援…………… 3  
【総務局・地域政策局・商工労働局・教育委員会】
- 3 呉市・広島大学Town & Gown構想による海洋・海事に関する  
国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成…………… 5  
【経営戦略審議官・商工労働局】

### 【防災・減災，国土強靱化<sup>じん</sup>関係】

- 4 呉駅周辺地域総合開発の推進 …………… 7  
【土木建築局・都市建築技術審議官】
- 5 広島呉道路（クレアライン）4車線化の整備促進 …………… 9  
【土木建築局】
- 6 東広島・呉自動車道の更なる機能強化・強靱化対策の推進  
……………11  
【土木建築局】
- 7 一般国道185号の早期事業化等 ……………13  
【土木建築局・都市建築技術審議官】
- 8 一般国道487号等の早期整備 ……………15  
【土木建築局】
- 9 主要地方道呉平谷線・都市計画道路焼山押込線の早期整備  
……………17  
【土木建築局・都市建築技術審議官】
- 10 県が管理する国道・県道の早期整備 ……………19  
【土木建築局・都市建築技術審議官】

11	市道整備の推進	21	【土木建築局・都市建築技術審議官】
12	J R 呉線の機能強化等	23	【地域政策局】
13	砂防・急傾斜地崩壊対策事業の加速と 適切な維持管理等による事前防災対策の推進	25	【土木建築局】
14	県営治山事業及び小規模崩壊地復旧事業の推進	27	【農林水産局】
15	農業用ため池の整備・廃止・管理等の推進	29	【農林水産局】
16	流域治水プロジェクトに基づくハード・ソフト一体 となった治水対策の推進	31	【土木建築局】
17	防災中枢拠点である中央公園の更なる機能強化	33	【都市建築技術審議官】
18	社会資本の適切な維持管理の推進	35	【土木建築局・農林水産局】
19	海岸事業（高潮対策）の早期完成	37	【土木建築局・農林水産局】
20	地方港湾の整備促進	39	【土木建築局】
21	漁港の整備促進	41	【土木建築局】
<b>【生活環境関係】</b>			
22	警察力の充実・強化	43	【警察本部】
23	生活交通の維持・確保	45	【地域政策局】

## 【教育関係】

24 併設型中高一貫教育校の設置 .....47  
【教育委員会】

25 学校教職員の定数確保に向けた取組の推進 .....49  
【教育委員会】

※ 令和7年度予算提案書事業箇所図

# 1 日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の休止に伴う支援

商工労働局

## 提案の要旨

呉市を取り巻く地域経済環境の急激な変化を受け、今後の産業の発展に資する、より効果的な対策を実施していく上で、更なる連携強化をお願いします。

## 現状及び課題

呉市は、終戦による海軍の解体とともに、人口も大きく減少しましたが、海軍工廠跡地に、日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区(以下「瀬戸内製鉄所呉地区」といいます。)を始めとする鉄鋼や造船等の企業が進出し、瀬戸内有数の臨海工業地帯として広島県の産業を牽引してきました。

こうした中、令和2年2月7日に日本製鉄(株)から、瀬戸内製鉄所呉地区の全設備の休止を含む生産設備構造対策の発表があり、令和5年9月末には全設備が休止となりました。

瀬戸内製鉄所呉地区は、地域経済を支えてきた一大産業であり、呉市にとって重要な存在であることから、この設備の休止が地域全体に与える影響は非常に大きいものと考えています。これまで、地域経済への影響を最小限にとどめるため、関係機関が一丸となって雇用や関係企業の事業継続等に対応してきました。

今後は、地域経済活性化の観点から、あらゆる分野の産業をバランスよく成長させるよう産業構造の転換を図る必要があります。

こうした中、令和6年3月4日に防衛省から瀬戸内製鉄所呉地区跡地の一括購入及び多機能な複合防衛拠点の整備並びに日本製鉄(株)、防衛省、広島県及び呉市による4者協議について申入れがあり、同月28日から協議を開始しています。

## 取組状況等

- 令和2. 2. 7 日本製鉄(株)が、旧日鉄日新製鋼(株)呉製鉄所(現:瀬戸内製鉄所呉地区)の高炉2基を令和3年9月末を目途に休止、全設備は令和5年9月末を目途に休止し、閉鎖すると発表
- 令和2. 2. 10 広島県、国と呉市が合同で「日鉄日新製鋼(株)呉製鉄所に係る合同緊急対策本部(現:日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区に係る合同対策本部)」を設置
- 令和2. 2. 17 広島県知事、呉市長が日本製鉄(株)本社及び国の関係省庁を訪問し、緊急支援等について要望活動を実施
- 令和2. 4～ 瀬戸内製鉄所呉地区、広島県及び呉市による意見交換を随時実施するとともに、呉市ビジネスモデル転換支援事業補助金や国の中小企業等事業再構築促進事業に対する追加支援など、呉市独自の補助制度を実施するほか、合同企業説明会、面接会、相談会等を開催
- 令和3. 9. 29 午前3時20分、高炉吹き止め(高炉への送風停止)
- 令和3. 12. 1 中国財務局を事務局とした国・県・市及び金融機関や関係団体を構成機関とする「呉事業者支援金融協議会」発足
- 令和4. 1. 21 「呉市雇用対策協定」を広島労働局と呉市との間で締結
- 令和5. 9. 末 瀬戸内製鉄所呉地区の全設備が休止
- 令和6. 3. 4 防衛省から瀬戸内製鉄所呉地区跡地の一括購入等について申入れ

## 提案の内容

### ○ 関連企業を含めた従業員の再就職支援

瀬戸内製鉄所呉地区の全設備休止後も再就職先が決まらず、呉市内での就職を希望される従業員については、呉市に引き続きとどまっていただくためにも、本市が最大限支援していく必要があります。ついては、就職相談会の開催などの再就職への支援を引き続きお願いします。

### ○ 起業・創業支援及び市内企業の新たな事業転換を図っていくための環境づくり

起業・創業支援及び市内企業の新たな事業転換を図っていくための環境を官民共同で整備していきますので、更なる連携と取組をお願いします。

### ○ 観光産業の振興に向けた支援

社会経済の変化に対応した産業構造の多様化を図るため、本市では令和3年9月に策定した「呉市観光振興計画」に基づき、マーケティングによる戦略策定やそれに資するための地域独自の観光プロダクトの創出、受入環境の整備や新たな観光推進体制の構築に取り組んでいます。ついては、これまでの工業都市の機能に加え、インバウンドなど観光産業が地域経済の柱となるよう支援をお願いします。

### ○ 防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備についての検討

防衛省による瀬戸内製鉄所呉地区跡地に係る「多機能な複合防衛拠点」の整備についての検討において、引き続き連携をお願いします。

#### 休止発表時の瀬戸内製鉄所呉地区の概要

- ・所在地：広島県呉市昭和町11-1
- ・敷地面積：143万㎡  
(令和2年3月末現在)
- ・従業員数：960人  
(令和元年3月末現在)
- ・年間粗鋼生産量：273万トン  
(平成30年度実績)
- ・年間出荷額：2,133億円  
(令和元年実績)
- ・協力企業数：52社  
(令和2年3月末現在)
- ・協力従業員数：約2,300人  
(令和2年3月末現在)



#### 瀬戸内製鉄所呉地区の休止発表に係る経緯

時期	内容
平成31. 1. 1	新日鐵住金(株)が日新製鋼(株)を子会社化
平成31. 4. 1	新日鐵住金(株)の商号を日本製鉄(株)に、日新製鋼(株)の商号を日鉄日新製鋼(株)に変更
令和元. 10. 3	日本製鉄(株)と日鉄日新製鋼(株)が令和2年4月に合併することを決定
令和元. 11. 1	日本製鉄(株)の製鉄所組織の統合・再編成により、呉製鉄所は令和2年4月に瀬戸内製鉄所に再編される旨を発表
令和元. 12. 23	呉製鉄所の第2高炉は令和2年2月中旬を目途に休止する旨を発表
令和2. 2. 7	呉製鉄所の高炉全2基は令和3年9月末を目途に休止、全設備は令和5年9月末を目途に休止し、再開の予定はないと発表

## 2 呉市総合スポーツセンターの施設移転・再配置及び 企業用地への転換に係る支援

総務局・地域政策局・商工労働局・教育委員会

### 提案の要旨

呉市総合スポーツセンターを企業用地に転換するに当たり必要となるスポーツ施設の移転・再配置と立地企業への支援をお願いします。

### 現状及び課題

本市においては、これまでも製造品の出荷や設備投資による税収の増、若者などの働く場の創出と定住に向け、産業団地を造成し、積極的な企業誘致・留置活動を推進してきました。

こうした中、令和5年9月末に、日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区の全設備が休止するなど、本市経済は大変厳しい状況にあることから、市内に立地したいという企業の需要に適時・適切に応え、企業活動による税収の増や若者の雇用創出・定住促進を図り、本市経済の更なる発展につなげていくことが喫緊の課題となっております。

一方、平成元年に民間の厚生施設として整備された呉市総合スポーツセンターは、平成17年に本市が取得し、これまで、本市の拠点スポーツ施設としての役割を担ってきましたが、開所から30年以上が経過し、施設全体が老朽化しており、今後、施設更新などを実施する必要があるほか、公共交通機関で行くことができないなど、アクセス面で課題があります。

この呉市総合スポーツセンターは、東広島呉道路に近接しているとともに、四つの工業団地が集積する地域に位置している好立地にあること、また比較的容易に産業団地に転換できることなどから、各スポーツ施設を、より利便性が高く充実した機能となるよう移転・再配置をするとともに、当該敷地は産業団地として売却することとし、令和5年11月13日に(株)ディスコと売買契約を締結しました。

今後は、令和7年4月に土地・建物の所有権を同社に移転し、順次、工場等の建設が進むこととなります。

このため、スポーツ施設の移転・再配置に当たっては、各スポーツ施設の利用できない期間ができるだけ生じないように、移転・再配置を円滑かつ早期に進める必要があるとともに、日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区の全設備休止の影響を最小限にとどめ、市内生産額の増加や新たな雇用創出、引いては地域経済の更なる発展を図るため、(株)ディスコの円滑な工場等の建設と企業活動を全力で支援していく必要があります。

### 取組状況等

令和2. 2. 7	日本製鉄(株)が、旧日鉄日新製鋼(株)呉製鉄所(現:日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区)の高炉2基を令和3年9月末を目途に休止、全設備は令和5年9月末を目途に休止し、閉鎖すると発表
令和3. 9. 29	高炉吹き止め(高炉への送風停止)
令和4. 8. 1	呉市議会議会協議会において、呉市総合スポーツセンターの施設移転・再配置及び産業団地への転換について報告
令和4. 8. 25	呉市議会産業建設委員会において、呉市総合スポーツセンター売却優先交渉権者決定に係る公募型プロポーザルの実施について報告
令和4. 10. 17	公募型プロポーザル募集開始
令和5. 1. 27	(株)ディスコを売却優先交渉権者として決定
令和5. 3. 29	同社と呉市総合スポーツセンターに係る立地協定締結
令和5. 11. 13	同社と呉市総合スポーツセンターの売買契約を締結 (呉市総合スポーツセンターの財産処分議案が呉市議会で可決)

## 提案の内容

### ○ 県民・市民一人一人のニーズやライフステージに応じて、誰もが趣味や健康づくりなどの目的をもってスポーツに親しむことができる機会を創出するとともに、全国規模の大会などで活躍することができる選手が育つ環境を整えるための早期のスポーツ施設の移転・再配置に係る支援

呉市総合スポーツセンターの各施設について、県民・市民にとって利便性が高く充実した機能を有する施設となるよう移転・再配置を進めています。

移転・再配置については、早期整備を図るため、大規模な造成を必要としない平坦な市有地などから候補地を選定しておりますが、現時点で見込まれる総事業費は少なくとも約80億円と見込まれることから、移転・再配置に係る財政的支援をお願いします。

また、移転・再配置先の検討の中で旧呉昭和高等学校跡地についての利活用の協議及び陸上競技場の配置予定先となっている入船山公園多目的広場内に配管されております広島県水道広域連合企業団の工業用水管に関する弾力的な取扱いをお願いします。

### ○ 地域経済の活性化と雇用の創出につながる内陸部産業団地に立地する企業への支援

(株)ディスコは、半導体切断装置や半導体研削装置の製造で世界でもトップシェア（世界約70パーセント、国内約90パーセント）を誇る、国内有数の企業で、その立地による効果は、年間出荷額約1,500億円、市税収入約6億円、雇用創出約2,000人以上と期待しています。

また、呉市内外からの従業員の雇用による定住・移住の促進、その従業員や家族による市内消費の拡大、更には世界最先端の働く場の創出など、様々な効果があると認識しています。

半導体関連産業の振興については、国を挙げて取り組んでいる重要施策であり、(株)ディスコの当該敷地への立地は呉市のみならず、広島県の産業振興に大きく寄与するものです。

こうしたことから、当該敷地における(株)ディスコの工場等の建設に係る支援や円滑な企業活動の推進について、特段の配慮をお願いします。

#### 呉市総合スポーツセンターの施設概要

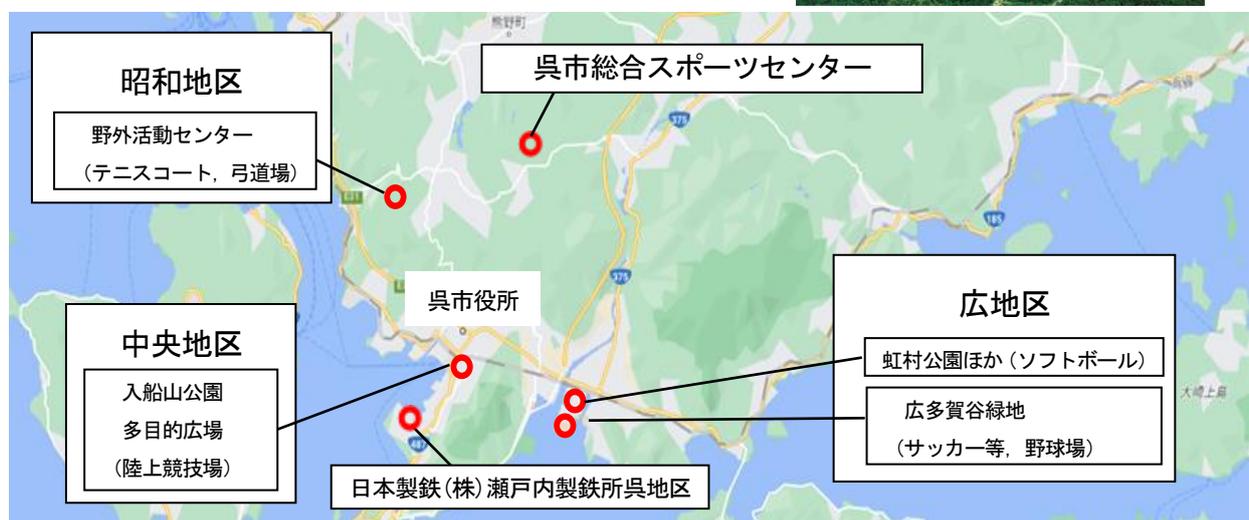
- ・所在地 呉市郷原町字ワラヒノ山内
- ・公簿地積 239,885平方メートル
- ・主な施設 陸上競技場、多目的グラウンド、野球場、テニスコート、弓道場、管理棟、駐車場

#### 【航空写真】



#### 【候補地の位置図】

(令和6年3月時点での検討状況)



### 3 呉市・広島大学Town & Gown構想による海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成

経営戦略審議官・商工労働局

#### 提案の要旨

呉市・広島大学Town & Gown構想による海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けた支援をお願いします。

#### 現状及び課題

四方を海に囲まれ、海洋国家としての歴史を有する日本は、海洋に関するあらゆる分野に関係性を有し、海は極めて重要な役割を果たしています。

呉市は、瀬戸内海のほぼ中央部に位置し、海洋・海事に関わるものづくりや海運業の伝統とともに、造船、船用工業等の瀬戸内海事クラスターが形成されています。

また、海上保安大学校や広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）、国立大学法人広島大学（以下「広島大学」といいます。）の練習船基地など教育・研究機関の集積もあり、海とともに発展する海洋文化都市として、大きなポテンシャルを有しています。

一方で、大手企業事業所の休止や、人口の減少等により、呉市の経済は大きな影響を受けています。また、呉市の産業を支える造船、船用工業、海運業等の海洋・海事関連産業においては、国際的に激化する競争への対応と、人材の確保という点が課題として挙げられています。

こうした中で、呉市と広島大学は、自治体と大学が一体となって、地域課題に取り組むことで、ともに発展を続ける仕組みであるTown & Gown構想を推進し、海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けて取り組んでいくこととしました。

令和5年7月には呉市、広島大学、海上保安大学校及び公益財団法人笹川平和財団（以下「笹川平和財団」といいます。）の4者で協定を締結し、令和6年1月には行政機関、関係団体、企業等で構成する海洋文化都市くれ推進協議会を設立し、海洋文化都市の実現に向けて、官民学が連携して取組を始めたところです。

#### 取組状況等

令和5年7月 呉市、広島大学、海上保安大学校及び笹川平和財団の4者で「呉市、広島大学、海上保安大学校及び笹川平和財団の呉市・広島大学Town & Gown構想の推進に向けた海洋・海事の国際的拠点の形成等に関する協定」締結

令和6年1月 呉市・広島大学Town & Gown構想 海洋文化都市くれ推進協議会設立

#### 【参画団体（60団体）】

国（国土交通省中国地方整備局、中国運輸局）、広島県、教育・研究機関、関係団体・企業等

## 提案の内容

### ○ 海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けた支援

今後は、令和5年7月に締結した4者協定に基づき、令和6年1月に設立した海洋文化都市くれ推進協議会を中心に事業を推進し、呉市が有する行政資源や豊かな地域資源、広島大学、海上保安大学校及び笹川平和財団が有する教育・研究人材、知見、国際ネットワーク等の資源を融合させ、新たな人材・企業を国内外から呉市に呼び込み、アジアにおける海洋・海事分野の新たな知の拠点の形成を目指してまいります。

この中で、海洋国家日本の重要な課題である国際的な人材の育成、海洋・海事DX、GXの研究開発、海洋環境の維持、回復等に取り組んでまいります。

また、海洋・海事に関する国際機関である世界海事大学（WMU）や国際海事法研究所（IMLI）等とも連携して、国際的な教育・研究・社会連携の拠点形成等に取り組んでいきたいと考えています。

なお、本取組は、令和5年4月28日に閣議決定された「第4期海洋基本計画」に掲げられた「総合的な海洋の安全保障」、「持続可能な海洋の構築」や、主要施策として掲げられている「海洋の産業利用の促進」、「科学的知見の充実」、「海洋におけるDXの推進」、「国際連携・国際協力」及び「海洋人材の育成・確保と国民の理解の増進」とも合致するものと考えています。

つきましては、呉市、広島大学、海上保安大学校及び笹川平和財団が進めるTown & Gown構想による海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けて、格別の御支援を賜りますようお願いいたします。

#### 【呉市・広島大学Town & Gown構想の取組項目】

- ・アジアにおける海洋・海事の国際的な教育・研究・社会連携の拠点形成に関すること。
- ・海洋・海事関係の国際機関等との連携に関すること。
- ・広島大学大学院の海洋・海事に係る学際的な学位プログラムの実施等による人材育成に関すること。
- ・先進技術を活用した海洋・海事に関するデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進に関すること。
- ・瀬戸内海の自然環境を生かしたグリーントランスフォーメーション（GX）の推進に関すること。
- ・新たな海洋・海事産業の創出に向けた関連企業等との連携に関すること。
- ・その他、海洋・海事の国際的な拠点の形成に伴う連携・協力に関すること。



呉市、広島大学、海上保安大学校及び  
笹川平和財団 4者協定締結



海洋文化都市くれ推進協議会設立総会

## 4 呉駅周辺地域総合開発の推進

土木建築局・都市建築技術審議官

### 提案の要旨

呉駅周辺地域総合開発の実現に向けた支援・必要な予算の確保をお願いします。

### 現状及び課題

呉駅周辺地域は、平成25年1月に閉店したそごう呉店跡地の再生や、老朽化に加え一般車が進入できない駅前広場の抜本的な機能強化、歩行者のバリアフリー動線の確保等が課題となっています。また、平成30年7月豪雨災害の際には、呉駅はJR代行バスの、呉中央棧橋は緊急輸送船の発着場所となるなど、当地域は代替交通の拠点としても大きな役割を担っています。

こうした課題や教訓を踏まえ、呉市の玄関口としてふさわしい駅周辺整備を推進するため、平成30年5月に都市交通や再開発の専門家から成る呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会を設置し、平成31年3月に「呉駅は鉄道駅だけでなく、バスや港の総合交通拠点に、そしてまちづくりの核にしていくこと」等の提言をいただきました。

この懇談会からの提言を基に、令和元年7月に呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会を設置し、周辺地権者や交通事業者、国・県の関係部局等にも御参画いただきながら検討を重ね、令和2年4月に呉駅周辺地域総合開発基本計画を策定しました。

また、本総合開発の重要な要素である呉駅交通ターミナルの整備については、令和2年9月に国土交通省中国地方整備局広島国道事務所とともに国道31号等呉駅交通ターミナル整備事業計画検討会を設置し、事業計画の検討・策定を経て、令和3年4月から、国の直轄事業として一般国道31号呉駅交通ターミナル整備事業を事業化していただきました。

事業化後、呉市においては、そごう呉店跡地で後継建物の整備を行う民間の実施事業者を令和4年11月に選定し、令和5年4月から既存建物の解体に着手するとともに、国におかれては、令和5年6月に一般国道31号呉駅交通ターミナル整備に係るECI事業者を選定していただき、相互に連携しながら、着実に実施設計を進めています。

本総合開発の第1期開発では、呉駅周辺地域全体を総合交通拠点として捉え、既存の駅前広場を1階は交通ターミナルに、2階はデッキ広場に再整備し、JR呉駅の橋上駅舎を推進しながら、市全体の交通まちづくりの起点となる、次世代モビリティや防災拠点にも対応した機能整備を進めるとともに、官民連携により、これらと一体となる、生活に必要な都市機能等を備えた複合施設をそごう呉店跡地に整備することにより、Society5.0の実現に向けた先駆的サービスが展開される次世代のまちなか居住エリアの創出を目指しています。

更に呉駅を起点とした周辺への回遊性向上に向けて、蔵本通り及び堺川沿いの中央公園一帯の公共空間を活用した、居心地良く歩きたくなるウォークブルな空間づくりを目指すとともに、青山クラブ・桜松館、呉市入船山記念館及び呉市立美術館が位置する幸町地区の総合的な整備を進めていきます。

これらの実現のため、引き続き、国、広島県及び呉市並びに民間実施事業者その他関係機関等が緊密に連携しながら、整備内容の更なる具体化、実施設計等を進めていく必要があります。

### 取組状況等

平成31年3月	「呉駅周辺地域総合開発に関する提言書」(呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会)
令和2年4月	「呉駅周辺地域総合開発基本計画」策定(呉市)
令和3年3月	「国道31号等呉駅交通ターミナル整備事業計画」策定(国土交通省・呉市)
令和3年4月	「一般国道31号 呉駅交通ターミナル整備事業」事業化(国土交通省)
令和4年11月	五洋建設(株)を代表者とするグループ「くれみらい」を実施事業者を選定(呉市)
令和5年4月	そごう呉店跡地に係る財産譲渡契約 発効(呉市・くれみらい特定目的会社)
令和5年6月	一般国道31号呉駅交通ターミナル整備設計委託契約(国・清水建設(株))
令和5年10月	呉駅交通ターミナル一般車送迎場実施設計委託契約(呉市・清水建設(株))

## 提案の内容

### ○ 呉駅周辺地域総合開発の実現に向けた支援・予算の確保

呉駅周辺地域総合開発の推進のため、国直轄事業である「一般国道31号呉駅交通ターミナル整備事業」と連携しながら、第1期開発の整備内容の更なる具体化、実施設計等の作業を進めています。

については、一般国道31号呉駅交通ターミナル整備を始めとする第1期開発の更なる推進とともに、呉市が実施する一般車送迎場整備及び2階デッキでの賑わい創出、これらを起点として中央公園等を活用した居心地良く歩きたくなるウォークブルな空間づくりや幸町地区総合整備事業など関連事業の推進への支援並びに必要な予算の確保をお願いします。

### 【 呉駅周辺地域の目指すビジョン及び整備の方向性 】 ( 国道31号等 呉駅交通ターミナル整備事業計画 抜粋 )



### 【 2階デッキの活用イメージ 】

( 国道31号等 呉駅交通ターミナル整備事業計画 抜粋 )

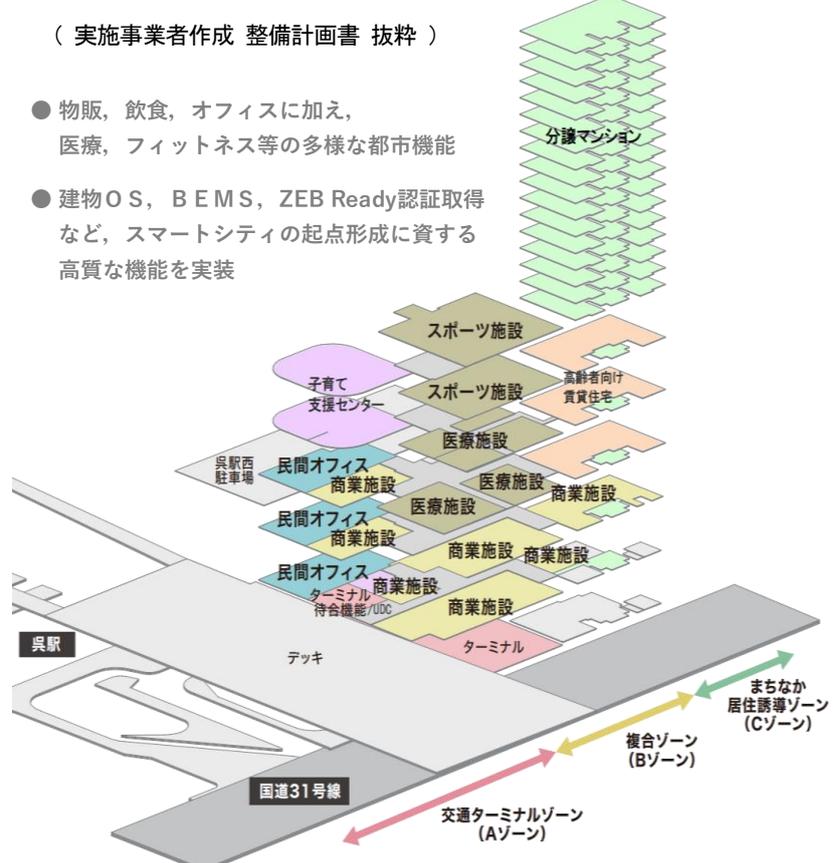


©NTTインフラネット、DigitalGlobe Inc.

### 【 そごう呉店跡地において整備する後継建物のイメージ 】

( 実施事業者作成 整備計画書 抜粋 )

- 物販、飲食、オフィスに加え、医療、フィットネス等の多様な都市機能
- 建物OS、BEMS、ZEB Ready認証取得など、スマートシティの起点形成に資する高質な機能を実装



## 5 広島呉道路（クレアライン） 4車線化の整備促進

土木建築局

### 提案の要旨

広島呉道路（クレアライン）の早期の4車線化と利用しやすく沿線の交通環境にも配慮した料金体系について、国・西日本高速道路株式会社への働き掛けをお願いします。

### 現状及び課題

広島呉道路（クレアライン）は、広島高速道路と東広島・呉自動車道を連絡する高規格道路であり、平成8年に仁保IC～呉IC間が供用されたことで、広島市・呉市の連携が強化され、広域的な社会経済活動や観光周遊等を支え、地域の活性化に寄与してきました。

しかしながら、平成30年7月豪雨災害の際には、各地で交通網が寸断され、広島呉道路についても、84日間全面通行止めとなり、発災直後の救命救急活動や緊急物資の輸送等に支障を来すとともに、長期にわたり市民生活に多大な影響を及ぼしました。

こうしたことから、災害に強い道路ネットワークの構築を目的として、平成31年3月に国と西日本高速道路株式会社において広島呉道路の暫定2車線区間（坂北IC～呉IC）の4車線化が決定されました。

4車線化されることで、災害対応能力の向上はもとより、物流の効率化や交流人口の拡大等により広島広域都市圏の更なる発展にも極めて効果的であることから、呉市を始め周辺地域においても早期整備に対する期待が非常に大きくなっています。

広島呉道路の4車線化は、平成31年3月に完成した休山新道や令和4年3月に完成した東広島・呉自動車道阿賀IC立体化等の幹線道路の整備と相まって、呉市を中心とした地域の交通状況を劇的に改善するものでありますが、こうした効果の最大化を図るために、令和元年度から、国土交通省において、呉市周辺地域の幹線道路ネットワークの機能強化等のための調査が進められています。

また、令和3年3月から広島呉道路と広島高速道路を連続利用するETC車を対象に料金割引制度が導入され、国道31号や仁保IC周辺の渋滞緩和等も図られています。

地域の安全・安心の確保と更なる発展のためには、広島呉道路の早期の4車線化と利用しやすく沿線の交通環境にも配慮した料金体系であることが必要だと考えています。

### 取組状況等

#### 広島呉道路建設促進期成同盟会（顧問：広島県知事，会長：呉市長）

令和 2年 8月 県・4市2町（呉市，広島市，坂町，廿日市市，江田島市，熊野町）の首長，議会，商工会議所等により広島呉道路建設促進期成同盟会を設立

令和 5年10月 国会議員，財務省，国土交通省に要望

令和 5年12月 西日本高速道路株式会社（大阪本社）に要望

#### 事業予定

時期	広島呉道路（坂北IC～呉IC）4車線化事業
令和6年度	工事
令和7年度	工事

#### 事業経緯

昭和45年度～ 事業着手（仁保IC～坂IC）

平成 8年 8月 仁保IC～呉IC間全線開通（坂北IC～呉ICは暫定2車線）

平成31年 3月 4車線化 事業許可（坂北IC～呉IC）

平成31年 4月 重要物流道路に指定

令和 3年 7月 4車線化 着工式開催

令和 4年11月 全工事区間の工事着手

## 提案の内容

### ○ 広島呉道路（クリアライン）4車線化の早期整備

令和3年度から4車線化の工事に着手いただき、市民の期待も高まっていますので、引き続き災害に強い道路ネットワークの形成、地域の更なる発展のため、広島呉道路の4車線化の早期整備について、国・西日本高速道路株式会社への働き掛けをお願いします。

### ○ 呉市周辺地域の幹線道路ネットワークの機能強化の促進

広島呉道路の4車線化を始め、様々な道路の整備効果の最大化を図るため、呉市周辺地域の幹線道路ネットワークの更なる機能強化について、国への働き掛けをお願いします。

### ○ 利用しやすく沿線の交通環境にも配慮した料金体系

令和3年3月に導入された広島呉道路と広島高速道路を連続利用するETC車に対する「広島呉道路連続利用割引」により、地域経済の活性化、交流人口の拡大等が図られるものと期待しています。今後も、利用しやすく沿線の交通環境の改善にも寄与する料金体系となるよう、国・西日本高速道路株式会社への働き掛けをお願いします。

## 広島呉道路（クリアライン）4車線化等



区分	事業主体	事業期間	区間・延長
坂北IC～呉IC 4車線化	西日本高速道路株式会社	令和元年度～	坂北IC～呉IC 約12.2km
呉市周辺地域の幹線道路ネットワークの機能強化のための調査	国土交通省	令和元年度～	呉IC～阿賀IC 約4km

## 6 東広島・呉自動車道の更なる機能強化・強靱化対策の推進

土木建築局

### 提案の要旨

東広島・呉自動車道のピンポイント渋滞対策，安全性・信頼性向上の取組，更なる機能強化の推進をお願いします。

### 現状及び課題

一般国道375号は，呉市から三次市を經由し島根県大田市を結ぶ主要な幹線道路であり，中国地方を横断し山陰と山陽の係を強化する等，重要な役割を担っています。

なかでも，呉市から東広島市にかけての沿線地域は，昭和59年に広島中央テクノポリス地域に指定されて以来，地域産業の技術高度化と先端技術開発の拠点として，目まぐるしい発展を遂げてきました。

一方で，地域の発展とともに一般国道375号の交通渋滞が深刻な課題となり，経済・社会のグローバル化が進む中，競争力を高め新たな経済成長を持続していくために，高速道路ネットワーク機能の充実・強化が求められ，高規格幹線道路『東広島・呉自動車道』が計画されました。

東広島・呉自動車道は，平成3年に広島県により事業着手され，平成5年からは国の直轄事業として強力に推進いただき，平成27年3月に暫定2車線で全線供用されました。全線供用後は，沿線地域の慢性的な渋滞が緩和され，物流の効率化等が図られ，令和5年11月には雇用創出約2千人以上の効果が期待される半導体切断装置や半導体研削装置の製造で世界トップシェアの企業と事業用地の売買契約を締結するなど企業進出は更に加速しています。加えて，移動時間の短縮により交流人口も拡大するなど，地域経済の発展を力強く支えています。

また，平成30年7月豪雨災害では，発災直後の迅速な救命救急活動や緊急物資の輸送を支え，さらに広島・呉間の広域迂回ルートとしての役割も果たし，災害による社会経済活動への影響を最小限に抑えることにも寄与しました。こうしたことから，当路線は平成31年4月に重要物流道路にも指定されたところであり，暫定2車線供用による事業効果の最大化と安全性・信頼性の向上が求められています。

こうした中，令和4年3月に阿賀IC立体化（呉方面）が完成したほか，令和4年度には全線の土工区間や中小橋におけるワイヤロープの設置が完了しました。

阿賀IC立体化が大きな事業効果を発揮する一方，先小倉交差点や小倉新開交差点では，広から呉方面の交通混雑が著しいことから，対策の検討が必要だと考えています。

また，トンネル内での正面衝突事故も発生しており，安全性・信頼性向上の取組として長大橋やトンネル区間における正面衝突事故対策，災害に強い道路ネットワークを構築するための4車線化や付加車線の設置など，更なる機能強化が必要だと考えています。

### 取組状況等

#### 東広島呉自動車道建設促進期成同盟会（会長：呉市長）

構成団体 4市1町（呉市，東広島市，竹原市，江田島市，熊野町）

令和5年7月・10月 中国地方整備局，広島県に要望

令和5年10月 国会議員，財務省，国土交通省に要望

#### 事業経緯

平成3年度 事業着手

平成27年3月 暫定2車線で全線供用（阿賀IC～高屋JCT・IC）

平成29年3月 阿賀IC立体化事業 工事着手

平成31年4月 重要物流道路に指定

令和4年3月 阿賀IC立体化（呉方面） 完成

## 提案の内容

### ○ 阿賀 I C 付近の交差点における交通混雑解消に向けた具体的な対策の検討

令和 4 年 3 月に阿賀 I C の呉方面の立体化が完成し、東広島・呉自動車道から呉方面へ向かう右折交通の所要時間が最大で約 5 割短縮するなど交通の円滑化や安全性の向上が図られています。

一方で、阿賀 I C 立体化の完成後、先小倉交差点や小倉新開交差点の広から呉方面の旅行速度は、依然として低下しています。

東広島・呉自動車道の全線供用と一般国道 185 号休山新道 4 車線化の効果の最大化を図る観点から、呉から阿賀間の交通流動や交通混雑の要因分析と交通混雑解消に向けた具体的な対策の検討をお願いします。

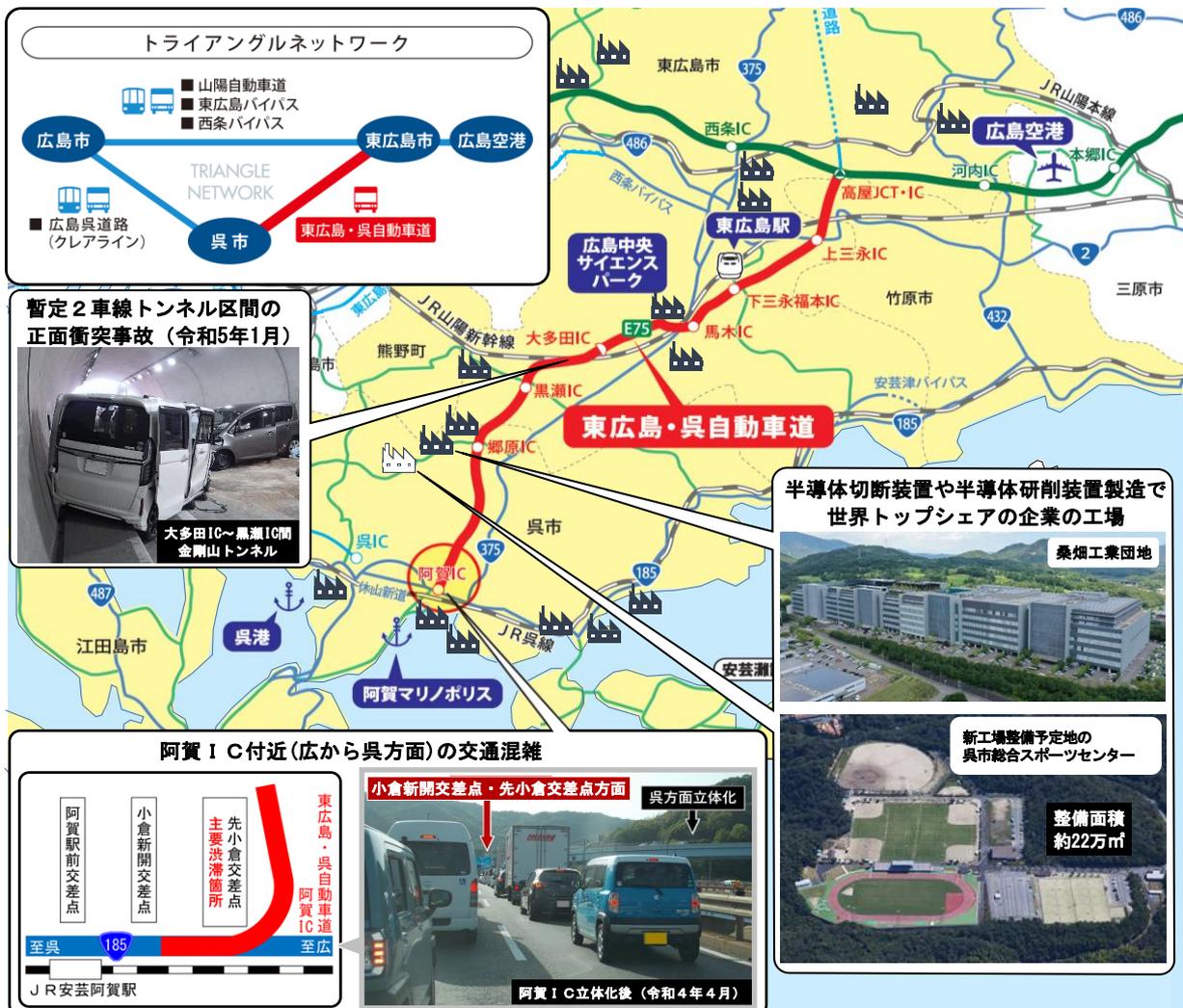
### ○ 正面衝突事故対策など、更なる安全性・信頼性向上の取組の推進

事故による通行止め等を回避するため、暫定 2 車線区間の飛び出し・正面衝突事故の対策について、長大橋やトンネル区間においても対策の本格実施に向けて引き続き検討いただくなど、安全性・信頼性向上の取組をお願いします。

### ○ 暫定 2 車線区間の更なる機能強化の推進

平成 30 年 7 月豪雨災害では、当路線も土石流により被災し通行止めとなるなど、近年、異常気象と自然災害が激化していますので、災害に強い道路ネットワーク構築のために 4 車線化や付加車線設置等の更なる機能強化をお願いします。

## 高規格道路 東広島・呉自動車道



## 7 一般国道185号の早期事業化等

土木建築局・都市建築技術審議官

### 提案の要旨

一般国道185号（広～安浦）の事業化に向けた取組を進め、喫緊の課題である広～川尻・安芸灘大橋までの早期事業化と現道の機能強化をお願いします。

### 現状及び課題

一般国道185号は、呉市から東広島市・竹原市を經由し三原市を結ぶ主要な幹線道路であり、瀬戸内海沿岸部の連係を強化し、山陽自動車道や一般国道2号の代替路線としての機能も有するなど、重要な役割を担っています。

沿線地域には、ものづくり産業における世界トップレベルの技術やオンリーワン・ナンバーワン企業が集積しており、当路線は欠かすことができない物流基盤として、古くから企業活動を支えてきました。さらに、呉市から三原市までの海岸線は、瀬戸内海国立公園の中でも屈指の絶景で、日本固有の素晴らしい歴史・文化を有することから、当路線は日本風景街道に指定されており、個性豊かな観光拠点を連絡する交流基盤として、広域的な観光周遊も支えてきました。また、これまで多くの利用者に親しまれてきた旧グリーンピアせとうちは、菓子製造・販売とホテル・リゾート運営を行う企業へ売却し、新たな観光などの地域振興拠点として活用される予定であり、更なる社会経済活動の活性化が期待されます。

一方で、平成30年7月豪雨災害では、土石流の発生や道路のり面の崩壊等により、多数の箇所が全面通行止めとなり、地域が孤立し円滑な復旧・復興活動に支障を来しました。

こうしたことから、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保すべき路線として、平成31年4月に重要物流道路に指定されたところです。

このように重要な路線であることから、交通容量が不足し慢性的な渋滞が発生している箇所については、早期事業化が必要だと考えており、特に広から川尻までの区間は、主要渋滞箇所の解消や増加するサイクリストへの対応のためにも、喫緊の課題だと認識しています。また、地域の安全・安心の確保と災害に強い道路ネットワーク構築のためには、無電柱化推進計画に基づく電線共同溝の整備など現道の機能強化が必要だと考えています。

### 取組状況等

#### 国道185号整備促進期成同盟会（会長：呉市長）

構成団体 5市1町（呉市、竹原市、三原市、東広島市、江田島市、熊野町）

令和2年7月 東広島市・三原市に参画いただき、国道185号（呉～安浦間）整備促進期成同盟会（呉市、竹原市、江田島市、熊野町）から、新たな期成同盟会として組織を刷新

令和5年7月・10月 中国地方整備局、広島県に要望

令和5年10月 国会議員、財務省、国土交通省に要望

#### 事業予定

時期	呉広本町電線共同溝
令和6年度	工事
令和7年度	工事

#### 事業経緯

平成18年 3月 国道185号呉市仁方地区みちづくり協議会から

一般国道185号呉市仁方地区の道路整備の方針に関する提言書提出

平成31年 4月 重要物流道路に指定

令和 5年12月 川尻歩道整備 完成

## 提案の内容

### ○ 一般国道185号（特に広～川尻・安芸灘大橋）の早期事業化

広から安浦までの事業化に向けた取組を進め、特に主要渋滞箇所の解消と増加するサイクリストに対応するため、広から川尻・安芸灘大橋までの早期事業化をお願いします。

### ○ 広本町の電線共同溝の早期整備

道路の安全性や信頼性を向上させるために、電線共同溝の早期整備をお願いします。

## 一般国道185号



## 8 一般国道487号等の早期整備

土木建築局

### 提案の要旨

一般国道487号（南伸ルート・湾内アクセス）の早期事業化及び早瀬大橋の耐震補強等の加速並びに（主）呉環状線及び（一）中大迫清田線の早期整備をお願いします。

### 現状及び課題

江能倉橋島地域は、広島県の南西部に位置し、江田島、能美島及び倉橋島から成り、音戸大橋・第二音戸大橋により本土と倉橋島が結ばれ、さらに、早瀬大橋によって江田島及び能美島までつながっています。

この地域は、瀬戸内特有の温暖な気候で豊かな自然と様々な地域資源に恵まれており、昭和60年に半島振興法に基づく半島振興地域に指定されて以来、産業や観光の振興、交通網や生活基盤の整備等を着実に進め、地域の活性化や定住促進等を図ってまいりました。

なかでも、就業・就学、高次医療機関及び都市的サービスは、広島市や呉市中心部への依存が大きいため、本土との関係を強化する交通体系の拡充と道路網の整備について重点的に取り組んできたところであり、特に音戸大橋の慢性的な渋滞の解消を目的に整備された一般国道487号警固屋音戸バイパスは、地域の活性化に極めて大きな効果を発揮してきました。

その他にも、一般国道487号藤脇バイパスと主要地方道音戸倉橋線釣士田バイパスの整備は、地域課題の解決に大きく貢献し、さらには、東広島・呉自動車道の全線供用により広島空港や山陽新幹線、山陽自動車道へのアクセス性が飛躍的に向上したことで、これまで以上に広域的な地域間交流が可能となりました。

一方で、平成30年7月豪雨災害では、倉橋島地域の国道・県道で22か所が全面通行止めとなり、災害に強い道路ネットワークの必要性が改めて認識されたところです。

当地域が、様々な地域資源を活用し、地域が有する潜在能力を最大限発揮して、個性ある豊かな地域として持続的発展を遂げていくため、地域の大動脈である一般国道487号や県道の早期整備が必要だと考えています。

### 取組状況等

#### 国道487号等整備促進期成同盟会設立（会長：呉市長）

構成団体 3市（呉市、広島市、江田島市）

令和5年7月・10月 中国地方整備局、広島県に要望

令和5年10月 国会議員、財務省、国土交通省に要望

#### 事業予定

時期	早瀬大橋 耐震補強	呉環状線 (警固屋)	呉環状線 (阿賀南)	中大迫清田線 (先奥)
令和6年度	工事	地元調整、設計	工事、用地買収	用地買収
令和7年度	工事	設計	工事、用地買収	用地買収

#### 事業経緯

平成11年度 南伸ルート・湾内アクセス検討着手（測量、調査実施）

平成25年3月 警固屋音戸バイパス暫定2車線供用開始

平成31年4月 重要物流道路の代替・補完路に指定

## 提案の内容

### ○ 南伸ルート・湾内アクセスの早期事業化

東広島・呉自動車道の全線開通により広島空港や山陽新幹線，山陽自動車道との広域交通ネットワークが形成されたところであり，その効果を最大限発揮させ，地域が持続的に発展していくために，南伸ルート・湾内アクセスの早期事業化をお願いします。

### ○ 早瀬大橋の耐震補強等，防災・減災及び国土強靱化対策の更なる加速

早瀬大橋は，江田島市と呉市を連絡する唯一の経路でありながら，十分な耐震性能が確保できていないため，切迫する巨大地震に備え早期の耐震化をお願いします。

また，建設から50年を超えましたので，適切な老朽化対策をお願いします。

### ○ 主要地方道呉環状線（警固屋及び阿賀南）の早期整備

江能倉橋島地域から東広島・呉自動車道へのアクセス道路である主要地方道呉環状線の警固屋及び阿賀南の早期整備をお願いします。

### ○ 一般県道中大迫清田線（先奥）の早期整備

地域で屈指の営農団地へのアクセス道路である一般県道中大迫清田線（先奥）の早期整備をお願いします。

## 一般国道487号等



## 9 主要地方道呉平谷線・都市計画道路焼山押込線の早期整備

土木建築局・都市建築技術審議官

### 提案の要旨

主要地方道呉平谷線（上二河）・都市計画道路焼山押込線（焼山北～焼山泉ヶ丘[本庄工区]・焼山北[本庄2工区]）の早期整備をお願いします。

### 現状及び課題

主要地方道呉平谷線は、呉市中央地区から昭和地区を経て熊野町に至る幹線道路であり、広島市と呉市を結ぶ一般国道31号の代替ルートとしての機能も有する等、重要な役割を担っています。沿線地域は呉市のみならず、広島市や東広島市とも近接することからベッドタウンとして急速に発展し、JR呉駅と昭和地区を結ぶ路線バスが1日180便も運行されているほか、周辺地域には産業団地も点在する等、本路線は地域に欠かすことができない生活・物流基盤となっています。

平成30年7月豪雨災害では、広島市と呉市を結ぶ道路の中で奇跡的に唯一大きな被災を免れ、救命救急活動や緊急物資の輸送等を担い、円滑な復旧・復興活動に寄与しました。

このように多くの重要な役割を担う路線でありながら、慢性的な交通渋滞が発生し、さらには大雨に伴う事前通行規制区間があることから、安全で円滑、安定した交通機能の確保が大きな課題となっています。近年、異常気象と自然災害が激化しており、災害に強い道路ネットワーク構築のためにも本路線の早期整備が必要だと考えています。

さらに、街路事業でこれまで整備いただいた箇所の沿線は、商業施設が立地するなど土地利用が着実に進み、新たなまちづくりに大きく寄与していますので、地域の活性化のためには都市計画道路の整備が必要と考えています。

### 取組状況等

#### 主要地方道呉平谷線整備促進期成同盟会設立（会長：呉市長）

構成団体 2市1町（呉市，東広島市，熊野町）

令和5年7月・10月 国土交通省中国地方整備局，広島県に要望

令和5年10月 国会議員，財務省，国土交通省に要望

#### 事業予定

時期	主要地方道呉平谷線 （上二河）	都市計画道路焼山押込線 （焼山北～焼山泉ヶ丘[本庄工区]）	都市計画道路焼山押込線 （焼山北[本庄2工区]）
令和6年度	工事	用地買収，工事	用地買収
令和7年度	工事	—	用地買収，工事

#### 事業経緯

##### （1）主要地方道呉平谷線（上二河～此原）

平成12年度 事業着手

平成17年度 此原工区 工事着手

令和2年度 上二河工区 工事着手

令和4年度 此原工区 供用開始

##### （2）都市計画道路焼山押込線

平成3年度 事業着手

平成14年4月 焼山此原町～焼山西1丁目 供用開始

平成22年2月 焼山西1丁目～焼山北1丁目 供用開始

平成30年度 焼山北～焼山泉ヶ丘[本庄工区] 事業着手

令和4年度 焼山北[本庄2工区] 事業着手



# 10 県が管理する国道・県道の早期整備

土木建築局・都市建築技術審議官

## 提案の要旨

放射環状型道路網を構築し、緊急輸送道路や合併支援道路等に位置付けられるとともに、企業等の生産活動を支え、安全・安心なまちづくりに寄与する国道・県道の早期整備と適切な維持管理の推進をお願いします。

## 現状及び課題

人流・物流はあらゆる生産活動の根幹であり、様々な交通インフラの中でも、道路が最も身近な施設として、その活動を支えています。

誰もが住み続けたい安全・安心で人を惹きつけるまちづくりと道路整備は不可分の関係にあり、特に都市間や中心地と郊外を結ぶ放射状道路は、都市の連係強化による様々な効果が期待できることから、最も重要な路線として優先的に整備を進める必要があります。

また、放射状道路を相互に連絡する環状型道路は、交通の分散を図り中心地の交通混雑を解消し、さらに発災時における代替路線の確保に効果的であることから、災害に強いまちづくりを進める上で、環状型道路の整備は極めて重要であり、呉市においても放射環状型道路網の整備を強力に推進する必要があると考えています。

この道路網は、呉市では国道・県道により構築され、多くの路線が緊急輸送道路や合併支援道路に指定されるなど、性質的にも重要な路線として位置付けられています。

放射環状型道路網の整備は、まちづくりの基本であり、合併支援道路は合併したまちの持続的発展に寄与するものであり、さらに緊急輸送道路の機能強化は災害に強いまちづくりに不可欠であることから、国道や県道の早期整備と橋りょう耐震補強などの強靱化対策は極めて重要と考えています。

また、安芸灘地域においては、地域の方々から安芸灘大橋の通行料金が負担となっていることから、地域の発展のため支援を望む強い要望があります。

## 取組状況等

### 広島県中央地域振興対策協議会

構成団体 4市2町（呉市、竹原市、東広島市、江田島市、熊野町、大崎上島町）

令和5年8月 国会議員に要望

### 整備箇所（道路整備計画2021）

区分	道路区分	路線名	区間	道路整備計画2021	緊急輸送	合併支援
改築系	県道	(主)呉平谷線	上二河～此原	R7以降も継続	○	
		(主)音戸倉橋線	井目木	R7までに部分完成	○	○
		(主)呉環状線	阿賀南	R7までに完成	○	
			警固屋	R7以降も継続	○	
			天応	R7以降も継続		
		(一)倉橋大向釣土田港線	本浦	R7以降も継続		○
		(一)中大迫清田線	先奥	R7以降も継続		○
		(一)豊島線	内浦	R7以降も継続		○
	街路	(都)焼山押込線	焼山北～焼山泉ヶ丘	R7までに完成	○	
			焼山北	R7以降も継続	○	
	交通安全事業	(主)呉平谷線	押込	R7までに完成	○	
			(主)音戸倉橋線	宇和木	R7までに完成	○
(一)広仁方停車場線			広長浜～広小坪	R7以降も継続		
(一)川尻安浦線			安浦中央	R7までに完成		
防災系	耐震補強	国道487号	早瀬大橋	R7までに完成	○	
		法面災害防除	国道375号ほか9路線	50箇所	R7までに完成	10路線

※ 道路整備計画2021は、県が策定した道路事業に係る5か年実施計画（R3～R7年）

## 提案の内容

### ○ 国道・県道の早期整備

放射環状型道路網を形成し、緊急輸送道路や合併支援道路など、性質的にも重要な役割を担うとともに、企業等の生産活動を支え、安全・安心なまちづくりに寄与する国道・県道の早期整備と適切な維持管理の推進をお願いします。

また、郷原地区では多くの企業が操業しており、さらに新たな企業立地により2千人以上の雇用創出を見込んでいます。これらの企業活動を支えるとともに、大型車など交通量の増加による影響を最小限とし周辺で生活する市民の安全・安心を確保するため、次期道路整備計画に次の箇所が位置付けられるとともに、短期的対策として交差点改良等の渋滞対策をお願いします。

- ・主要地方道呉環状線（郷原～苗代）

### ○ 橋りょう耐震補強などの強靱化対策等の加速

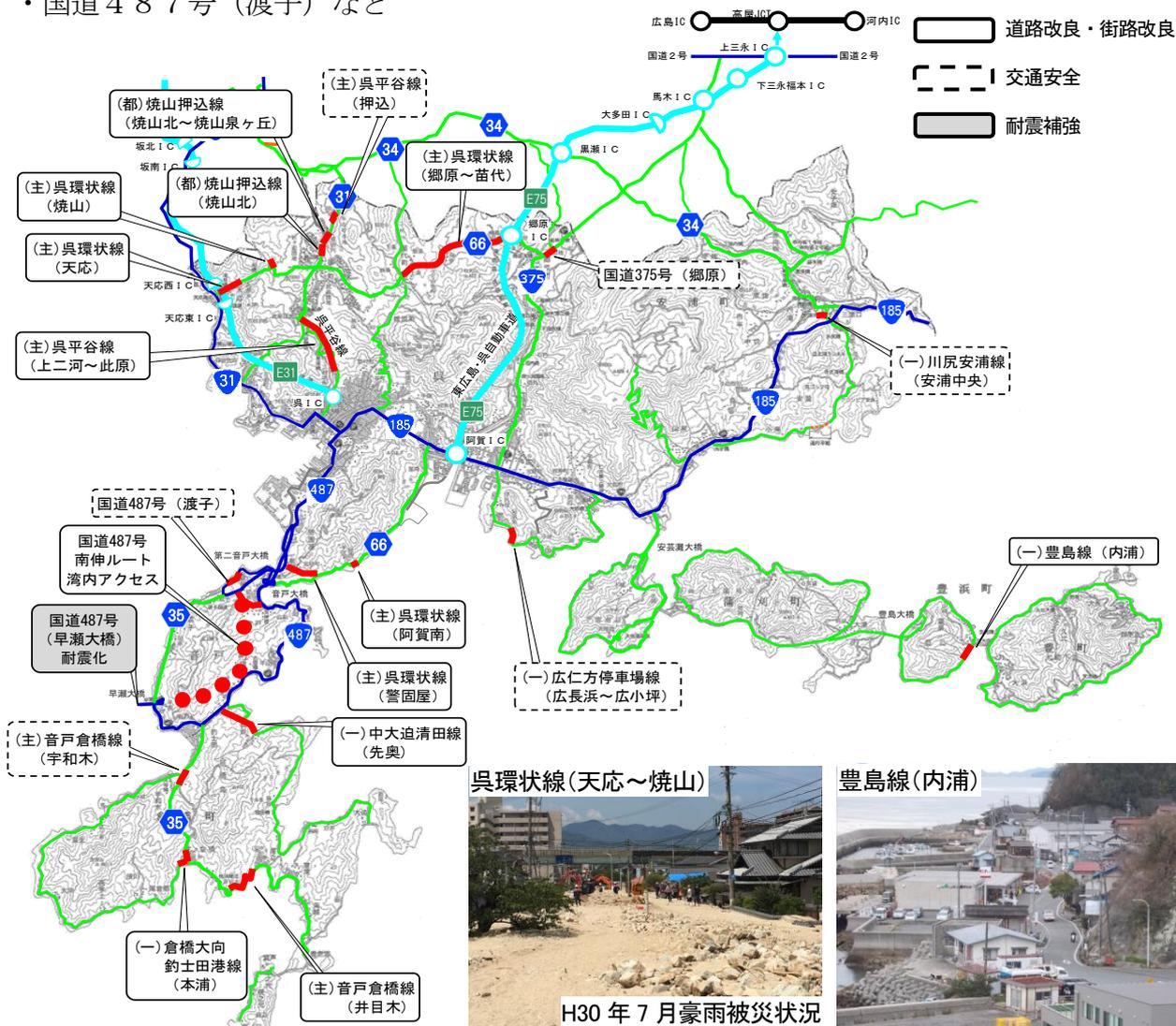
災害に強い道路ネットワークの機能強化のため、早瀬大橋の耐震化及び道路法面災害防止による強靱化対策の推進をお願いします。

### ○ 通学路における交通安全対策の推進

令和3年6月に発生した千葉県八街市での交通事故を受け、道路空間の安全を確保するために実施した通学路合同点検の結果を踏まえた対策箇所などにおいて、歩道整備等をお願いします。

また、次期道路整備計画に次の箇所が位置付けられ、円滑に事業が進められるよう配慮をお願いします。

- ・国道375号（郷原）
- ・国道487号（渡子）など



# 11 市道整備の推進

土木建築局・都市建築技術審議官

## 提案の要旨

市民の日常生活を支える市道の計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。

## 現状及び課題

道路は社会・経済活動を支える根幹であり、都市が持続的に発展していくためには、広域的な移動を支える幹線道路と広域的な道路を補完し地域内の活動を担う生活道路が、体系的・機能的に連携した道路網として、バランス良く整備されていることが重要です。

このため呉市では、都市間の連携強化に資する幹線道路を国・県に整備いただき、地域内の課題解決に必要な道路整備については、市が推進することで道路網の充実・強化を図っています。

現在、呉市が積極的に推進している事業は、いずれも国土交通省の補助事業や交付金の重点配分の考え方に沿ったものであり、新たに整備される高規格道路ICへのアクセス道路、通学路への歩道整備など地域が一体となって推進する交通安全事業、緊急輸送道路の橋りょう耐震補強、防災・減災・強靱化対策として取り組む道路整備等です。

道路は地域経済を支え、安全で安心なまちづくりに不可欠であることから、道路整備に関する多くの要望がありますが、早期効果の発現を目的にプライオリティに基づいて計画的に整備を推進していく必要があると考えており、呉市の道路事業についても効率的・効果的に整備が進むよう、必要な予算の確保をお願いします。

## 取組状況等

### 道路整備促進期成同盟会全国協議会広島県地方協議会

構成団体 22市町

令和5年10月 国会議員、財務省、国土交通省に要望

### 整備箇所（呉市土木未来プラン（令和3年度～令和7年度））

#### 道路局所管

工種	路線名	区間	実施計画
道路改良	森要垣内線	川尻町東3丁目	R7までに完成
交通安全	本通八幡町線	和庄1丁目	R7までに完成
	本通4丁目5号線	本町	R7までに完成
	焼山矢野線	焼山北3丁目	R7までに完成
橋りょう耐震補強	長大橋ほか10橋	市内一円	R7以降も継続

#### 都市局所管

工種	路線名	区間	実施計画
道路改良	中央二河町線	西中央4丁目	R7までに完成
	天応西条3丁目7号線	天応西条3丁目	R7までに完成
	安浦中畑・下垣内地区内道路（中畑5号線）	安浦町大字中畑	R7までに完成
交通安全	横路1丁目白石線	広駅前1丁目	R7までに完成
	横路1丁目白石線	広白石3丁目	R7までに完成

※「呉市土木未来プラン（令和3年度～令和7年度）」は、市が策定した土木分野の総合計画であり、道路整備プログラムとしての性質も有するもの

## 提案の内容

### ○ 広島呉道路4車線化関連の(都)中央二河町線の計画的な整備に必要な予算の確保

広島呉道路の呉ICへ直結する道路の整備であり、広島呉道路4車線化と一体で推進する事業であることから、計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。

### ○ 焼山地区の焼山矢野線の計画的な整備に必要な予算の確保

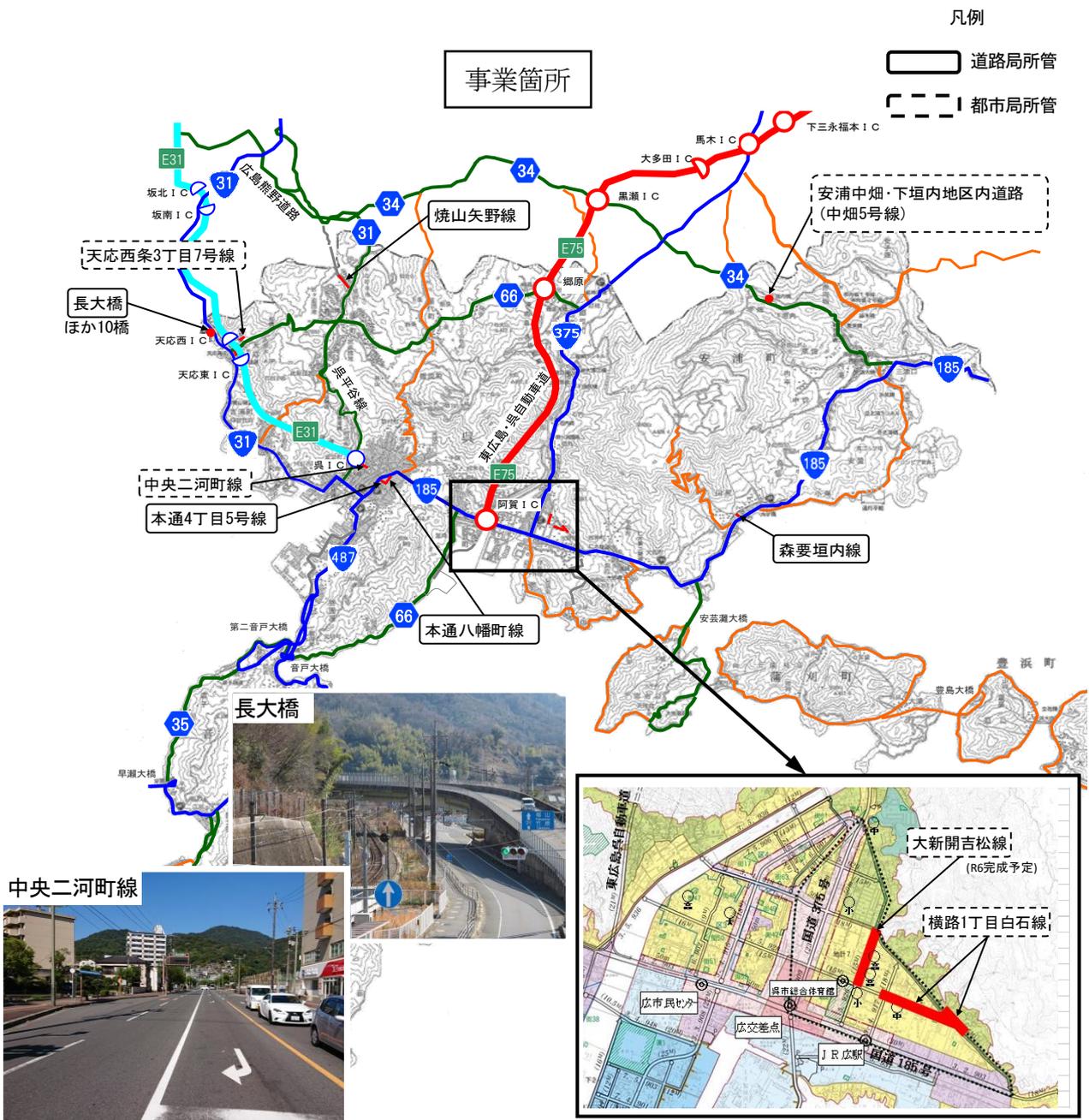
バイパス整備により狭あいでの交通量が多く危険な通学路の通過交通をバイパスに転換させる重要な事業であり、県の焼山押込線の整備と一体的に推進していることから、計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。

### ○ 広駅前地区の(都)横路1丁目白石線の計画的な整備に必要な予算の確保

広駅前地区を活性化し、通学路交通安全プログラムに基づく重要な道路整備であることから、計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。

### ○ 重要物流道路・緊急輸送道路等における橋りょうの早期耐震化に必要な予算の確保

災害に強い道路ネットワークの機能強化のため、重要物流道路・緊急輸送道路等における橋りょう耐震化の計画的な推進に必要な予算の確保をお願いします。



# 12 JR呉線の機能強化等

地域政策局

## 提案の要旨

JR呉線の機能強化及びバリアフリーに配慮した施設整備等についてJR西日本へ働き掛けをお願いします。

## 現状及び課題

JR呉線は、呉市を含めた芸南地域と県庁所在地の広島市とを結ぶ重要な公共交通機関であり、地域住民の日常生活に欠くことのできない交通手段です。

平成30年7月豪雨により、JR呉線は長期間にわたり運休を余儀なくされ、通勤・通学を始め地域住民の日常生活に多大な影響を及ぼしたことから、頻発する自然災害に耐え得る恒久的な機能強化が必要となっています。

また、特に広駅以東の区間については、利用者の減少が続いており、列車の減便によって、地域住民の利便性が低下しています。こうした中、呉市では、平成13年に沿線4市（呉市、東広島市、竹原市及び三原市）により「瀬戸内さざなみ線利用促進委員会」を設置し、広報活動や各種イベントの開催などにより利用促進の取組を実施していますが、観光客の利用だけでなく、通勤や通学等の日常利用を更に促進させるためには、今後、JR西日本とも連携した取組が必要だと考えています。

さらに、呉線沿線にはバリアフリー未対応の駅が多く、地域住民からは、誰もが安心して利用できる駅施設の整備に対する強い要望があり、呉市では、令和3年度に呉市の負担による安芸川尻駅のバリアフリー化に着手したほか、吉浦駅についても、令和4年度に策定した「呉市バリアフリー基本計画」において重点整備地区に位置付けるなど、バリアフリー化に向けての環境整備を行っているところです。

今後の芸南地域の発展と活性化に向けて、JR呉線の機能強化やバリアフリー化の推進、ダイヤ調整などによる利便性の向上等による、誰もが安心・快適に利用できる鉄道環境の整備が求められています。

## 取組状況等

- |       |    |   |
|-------|----|---|
| 昭和63. | 5  | JR呉線複線化等期成同盟会設立（4市18町及び商工会議所等）<br>※平成17.4月以降、6市3町及び商工会議所等 |
| 平成6.  | 9  | JR呉線複線化実施調査着手（平成7.3完了）                                    |
| 平成11. | 2  | 呉～広島間輸送改善事業完了   |
| 平成13. | 10 | 瀬戸内さざなみ線利用促進委員会設置   |
| 平成14. | 3  | 新広駅開業：エレベーター2基設置  |
| 平成14. | 3  | 呉駅：エレベーター2基設置   |
| 平成15. | 3  | 広駅：エレベーター2基設置   |
| 平成16. | 6  | JR呉線活性化推進協議会設置  |
| 平成17. | 10 | JR呉線観光列車運行開始  |
| 平成18. | 7  | JR呉線活性化検討会・JR呉線利用促進検討会設置<br>JR呉線活性化検討調査着手（平成21.3完了）       |
| 平成18. | 7  | 安芸阿賀駅駅舎改築等完了（エレベーター2基設置）                                  |
| 平成19. | 4  | 安芸阿賀駅周辺整備事業完了   |
| 平成25. | 8  | 呉駅：点状ブロック設置   |
| 平成29. | 3  | 新広駅改良等工事完了：みどりの窓口設置、自動改札機増設、ホーム拡幅及び上屋設置工事                 |
| 令和3.  | 6  | 安芸川尻駅バリアフリー化整備事業着手  |

## 提案の内容

### ○ 災害に備えるための強靱化対策の推進

J R呉線全線において、頻発する自然災害に耐え得る恒久的な機能強化について、J R西日本への働き掛けをお願いします。

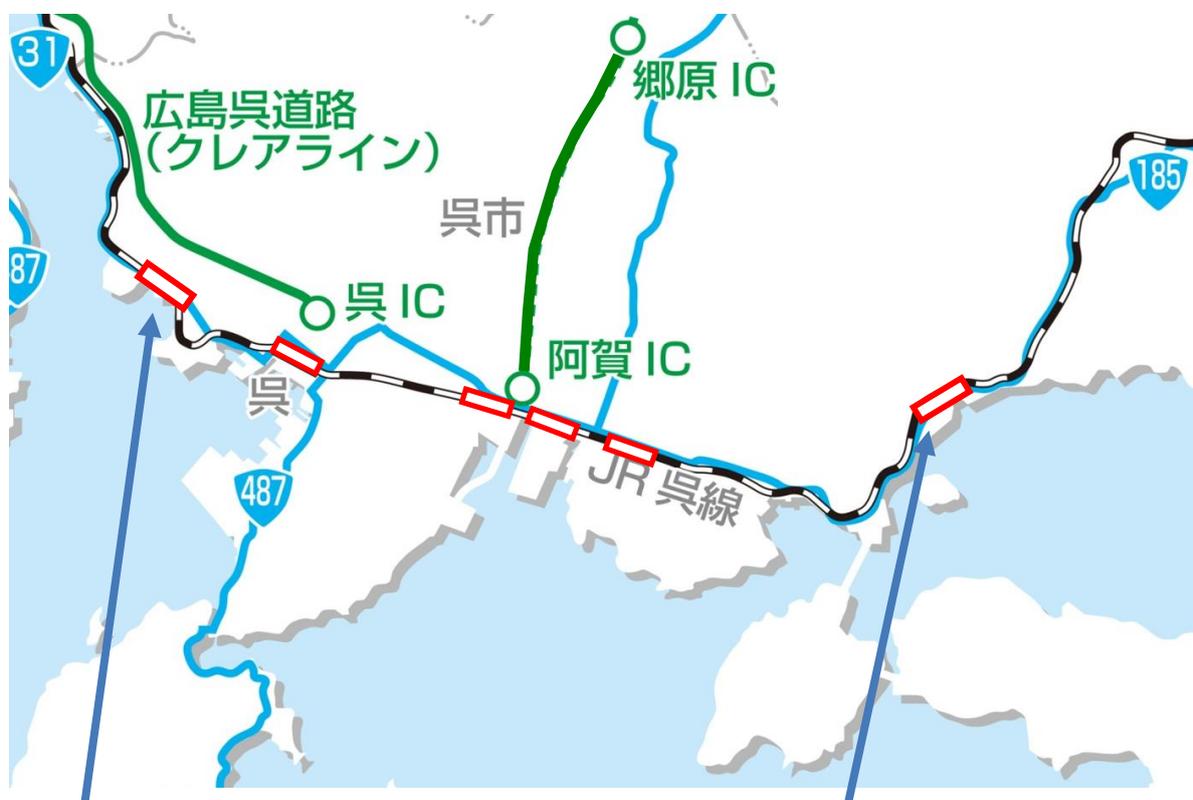
### ○ 安全・安心に配慮した駅施設の整備

駅施設の更なるバリアフリー化（特に安芸川尻駅、吉浦駅など）の推進について、J R西日本への働き掛けをお願いします。また、移動円滑化基本方針に基づく駅施設のバリアフリー化整備に対する、県からの一部負担についても検討をお願いします。

### ○ 運行改善による利便性の向上

- ・ 呉駅～広島駅間の快速列車の増便
- ・ ダイヤ調整や行き違いの工夫による所要時間の短縮
- ・ 新幹線と呉線の接続時間の短縮
- ・ 呉駅・広駅における三原方面列車との接続改善
- ・ 無人駅へのみどりの券売機の設置

以上について、J R西日本への働き掛けをお願いします。



J R吉浦駅・ホーム



J R安芸川尻駅・跨線橋



# 13 砂防・急傾斜地崩壊対策事業の加速と適切な維持管理等による事前防災対策の推進

土木建築局

## 提案の要旨

生命、財産及び企業活動等を守るために、砂防・急傾斜地崩壊対策事業等のハード対策の加速と防災意識社会構築のためのソフト対策の充実・強化をお願いします。

## 現状及び課題

呉市では、過去から大規模な土砂災害が幾度となく発生し、その都度国や県により緊急的な砂防事業を実施いただくとともに、計画的に土砂災害対策を推進いただいたことから、整備率は全国平均を上回っています。

しかしながら、平成30年7月豪雨災害では、市内で30名もの尊い命が奪われたほか、約3千2百棟余りの家屋が被害を受けるとともに、道路や鉄道の寸断、広範囲にわたる水道の断水など、市民生活や経済活動の基盤となるあらゆるインフラにも多大な被害が発生しました。

近年、時間雨量50ミリを超える雨が頻発し、平成30年7月豪雨での県内の土砂災害発生件数は、1,242か所<sup>※</sup>と、全国の1年間で発生する土砂災害の数(約1,000か所/年)を上回るなど、異常気象と自然災害は激化しており、安全で安心なまちづくりを実現するためには、砂防えん堤や急傾斜地崩壊対策施設の整備は不可欠です。

また、土砂災害警戒区域等の指定については、令和2年度までに全ての対象箇所の指定を完了いただき、市民の防災意識の向上に大変役立っており、防災情報を適切な避難行動に結び付けるためにも、ソフト対策の更なる充実・強化が極めて重要です。

このようなことから、流域全体で対策を実施するという流域治水の趣旨に基づき、ハード・ソフト一体となった総合的な土砂災害防止対策を強力に推進いただく必要があると考えています。  
<sup>※</sup>県内の土砂災害発生件数1,242か所は広島県公表数値(土砂災害警戒区域等及びその周辺で発生した数)

## 取組状況等

### 砂防関係要望活動

令和5年 5月 全国治水砂防協会通常総会  
 令和5年 6月・10月 国会議員、財務省、国土交通省に要望  
 令和5年11月 全国治水砂防促進大会

### ハード施設の整備率(呉市)

分類	整備対象 <sup>※1</sup>	整備済	整備率	全国平均 <sup>※2</sup>
砂防施設	586	272	46.4%	約22%
急傾斜地崩壊対策施設	1,147	724	63.1%	約26%
合計	1,733	996	57.5%	

<sup>※1</sup> 土砂災害危険箇所(平成14年度公表)のうち、ランクI(人家5戸以上又は公共施設を有する箇所)から抽出

<sup>※2</sup> 国が公表している「土砂災害危険箇所の整備状況(平成21年度末)」を計上

### 土砂災害警戒区域等の指定状況(呉市)

分類	対象箇所 <sup>※1</sup>	指定済	指定済率	全国平均 <sup>※2</sup>
土石流	1,458	1,458	100.0%	約99%
急傾斜	2,639	2,639	100.0%	

<sup>※1</sup> 令和6年3月28日時点

<sup>※2</sup> 国が公表している「全国における土砂災害警戒区域の指定状況(令和5.12.31時点)」から推計値を分母とした割合

### 整備予定箇所数(呉市)

分類	砂防アクションプラン <sup>※1</sup>		H30.7月豪雨災害対応 <sup>※2</sup>	
	R7迄に完成	R7以降も継続	国	県
砂防施設	3	10	9	27
急傾斜地崩壊対策施設	4	7	—	6

<sup>※1</sup> 砂防アクションプランは、県が策定した砂防・急傾斜事業等に係る5か年実施計画(R3~R7)

<sup>※2</sup> 「平成30年7月豪雨 砂防治山施設整備計画(緊急事業、激特事業等)」に掲載の事業を計上

## 提案の内容

### ○ 平成30年7月豪雨災害に係る砂防施設の早期完成及び土砂・洪水氾濫対策の実施

国・県による再度災害防止に関わる砂防事業（特定緊急砂防事業（国）等）の着実な実施により，早期に施設を完成していただくようお願いします。また，土砂・洪水氾濫のリスクの高い地域において引き続き国直轄事業により対策を実施するとともに，円滑な対策実施のため，現在，令和7年度までの時限設置となっている広島西部山系砂防事務所の恒久化をお願いします。

### ○ 計画的な土砂災害対策の推進

災害に強い安全・安心なまちづくりの実現に向けて，砂防アクションプランに基づき，砂防・急傾斜地崩壊対策事業の計画的な推進をお願いします。

#### ・砂防施設

（完成事業）中須賀川，中小坪川，小原川

（継続事業）神開川，光明寺川，塩谷川，檜垣川，東須川，東江の川，辰川川，上畑川，小川，上相ヶ谷川

#### ・急傾斜地崩壊防止施設

（完成事業）小用一丁目A，吉浦宮花町4

（継続事業）波多見7丁目，小仁方一丁目8，北隠渡1丁目，畝松，向田，西惣付町5，天応東久保2丁目4

### ○ 実効性のある避難を確保するためのソフト対策の充実・強化

災害情報を適切な避難行動につなげるために，土砂災害警戒区域の指定等に関する情報発信，学校での防災教育等，ソフト対策の充実・強化をお願いします。

### ○ 安全・安心を確保するための既存施設の適切な維持管理

施設が本来有する機能を十分に発揮するため，適切な点検・補修等をお願いします。

特に砂防施設については，市民はなじみが薄いため十分な理解がなされておらず，不安を抱く人も多いことから，砂防施設の役割や点検結果等について，地域住民への説明や分かりやすい資料で公表いただくことをお願いします。

平成30年7月豪雨により天応地区を襲った土砂・洪水氾濫



大屋大川

土石流を捕捉し，被害を軽減した砂防えん堤（一部破損）



背戸の川

学校での防災教育（土石流模型を活用した体験）



天応小学校

# 14 県営治山事業及び小規模崩壊地復旧事業の推進

農林水産局

## 提案の要旨

県営治山事業の一層の推進と小規模崩壊地復旧事業の推進に向けた財源確保をお願いします。

## 現状及び課題

近年、全国的に異常気象による局地的な集中豪雨が頻発し、山地においても、山腹崩壊、土石流等の災害が発生しています。

呉市では、平成30年7月豪雨により市内各地で、山林崩壊（山腹崩壊、土石流等）による大規模な山地災害が多発し、市民の生命や財産に甚大な被害が生じました。

被災箇所については、緊急の治山事業で一部復旧していますが、今なお山地災害が懸念される箇所が残っています。

市民の安全・安心な生活環境の確保のためには、被災山地の復旧や再度災害防止、荒廃山地の災害予防などの治山事業の実施が急務となっています。

## 取組状況等

### 県営治山事業の進捗状況

#### 【平成30年7月豪雨災害関連事業】

- ・災害関連緊急治山事業  
令和元年度～令和3年度 全件（6か所）工事完了
- ・林地荒廃防止施設災害復旧事業  
令和元年度～令和3年度 全件（5か所）工事完了
- ・治山激甚災害対策特別緊急事業（令和元年度～令和5年度）  
令和元年度～4年度 20か所（49か所中）事業完了  
令和5年度 15か所（49か所中）の工事を実施  
※残事業箇所については、通常事業により引き続き要望を行う。

#### 【通常事業】

- ・緊急機能強化・老朽化対策事業  
令和5年度 新たに1か所の調査設計を実施  
令和6年度 新たに1か所の工事を予定
- ・復旧治山事業  
令和5年度 新たに4か所の工事を実施  
令和6年度 新たに1か所の森林整備を予定・新たに3か所の測量設計を予定  
令和7年度（新規要望）5か所 ※要望箇所については、県と調整中
- ・緊急予防治山事業  
令和5年度 新たに1か所の測量設計を実施  
令和6年度 新たに1か所の測量設計を予定  
令和7年度（新規要望）1か所 ※要望箇所については、県と調整中
- ・林地荒廃防止事業  
令和5年度 継続分2か所の工事を実施し、1か所の工事が完了  
令和6年度 継続分1か所の工事を実施  
令和7年度（新規要望）37か所 ※要望箇所については、県と調整中
- ・保安林整備事業  
令和7年度（新規要望）保安林改良事業5か所、保育事業1か所  
※要望箇所については現在、県と調整中

### 小規模崩壊地復旧事業（呉市事業箇所）の実施状況

- 令和5年度 継続分6か所、新規分8か所の工事を実施
- 令和6年度 継続分5か所、新規分9か所の工事を予定
- 令和7年度（新規要望）8か所 ※要望箇所については、県と調整中

## 提案の内容

### ○ 通常事業の促進

災害に強い安全・安心なまちづくりの実現のため、荒廃山地の災害予防へ向けて、林地荒廃防止事業の早期着手・完了並びに復旧治山事業、保安林整備事業及び緊急予防治山事業等の新規要望箇所の早期事業化をお願いします。

### ○ 安全・安心を確保するための既存施設の適切な維持管理

施設が本来有する機能を十分に発揮するため、適切な点検・補修等、計画的な維持管理の推進をお願いします。

### ○ 市施工の小規模崩壊地復旧事業の推進に向けた予算化（県補助金：事業費の1／2）

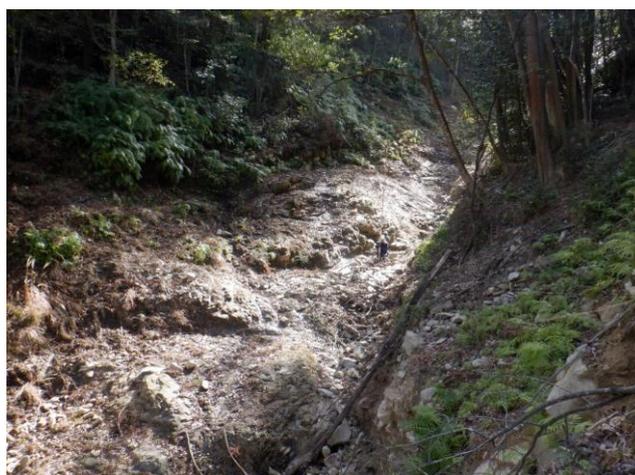
県営治山事業と同様に、小規模崩壊地復旧事業による荒廃林地の復旧又は荒廃のおそれのある林地の予防は、災害予防へ向けた重要な事業であり、継続して十分な財源確保をお願いします。

#### 平成30年7月豪雨 被災状況

〔安浦町打田ヶ原2〕山林崩壊状況（その1）



〔安浦町打田ヶ原2〕山林崩壊状況（その2）



# 15 農業用ため池の整備・廃止・管理等の推進

農林水産局

## 提案の要旨

「2025広島県農林水産業アクションプログラム」及び「防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画」に基づく防災・減災対策の推進をお願いします。

## 現状及び課題

呉市の気候は、瀬戸内海式気候であり、年間降水量が少ないことに加え、農業用水として利用できる大きな河川が少なく、さらには、農地の多くが、山地に囲まれた狭い谷間に細長く広がっていることから、農業生産に不可欠な用水源となる農業用ため池が築堤されてきました。

しかし、離農や高齢化により利用者を主体とする管理組織が弱体化したことから、農業用ため池の管理が行き届かなくなるなどの問題が顕著化しています。さらには、農業用ため池の下流域の宅地化が進んだ状況を踏まえ、防災・減災対策を講じる必要があります。

このため、広島県が策定した「2025広島県農林水産業アクションプログラム」及び「防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画」に基づき、県・市が一体となって防災・減災対策に取り組んでいく必要があります。

## 取組状況等

### ○ 農業水路等長寿命化・防災減災事業（ため池廃止工事）

#### 【県営事業】

- 令和元年度～令和4年度 7か所廃止工事完了

【工事】しろご池（中央），堀池（蒲刈），下の池（阿賀），延相大池（安浦），橋本池1号・2号（安浦），桐山池1号（安浦）

- 令和5年度 【測量設計】上条池（焼山），南谷大池（安浦），佐藤池2号（安浦），黄盤池（川尻）

- 令和6年度 【工事】南谷大池（安浦），黄盤池（川尻）を予定

#### 【団体営事業】

- 令和6年度 【測量設計】谷本（仁方），谷本池（仁方），平田の池（郷原），植尾（郷原），観音上池（倉橋），新宅池（郷原），沖田池（川尻）

- 令和7年度 広島県への団体営事業（呉市）要望予定箇所

【工事】7か所，【測量設計】10か所

※要望箇所については現在，県と調整中

### ○ 農村地域防災減災事業（ため池改修工事）

#### 【県営事業】

- 令和5年度 【測量設計】昭和池（川尻），中池（安浦）

- 令和7年度 【工事（実施設計）】昭和池（川尻），中池（安浦）を予定

### ○ ため池緊急整備事業（ため池改修工事）

#### 【県営事業】

- 令和6年度 【測量設計】<sup>なごさこ</sup>内後迫池（安浦）

## 提案の内容

### ○ 防災・減災対策の推進

災害に強い安全・安心なまちづくりに向けて、農業用ため池による人的な被害を未然に防止することに努めるとともに、下流域の被害が最小となるよう、広島県が策定した「2025広島県農林水産業アクションプログラム」及び「防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画」に基づいた防災・減災対策の推進をお願いします。

特に、今後防災工事等が予定されている防災重点農業用ため池については、早期完了に向け、事業の推進をお願いします。

#### 【参考1】2025広島県農林水産業アクションプログラム ※ため池総合対策部分

##### ●具体的行動計画

#### 1 住民の迅速な避難行動につなげる対策

##### 内 容

防災重点ため池の名称、位置及び浸水想定区域に関する情報を、「広島県ため池マップ」等を通じて情報提供していきます。また、作成した浸水想定区域図を基に、避難所など住民が避難に必要とする情報を付加した「ハザードマップ」の作成と公表を市町が進めるよう支援します。

防災情報が住民の避難に向けた意思決定や具体的な行動につながるよう、提供する情報の充実と定期的な周知などを他分野の防災対策と連携を図りながら推進します。

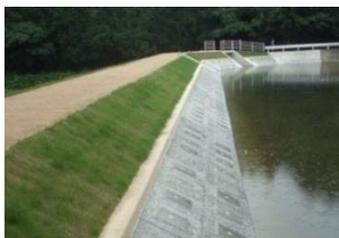
#### 2 管理強化と防災工事（補強・廃止）

##### 内 容

利用や管理の実態を把握するため、管理保全法に基づく届出がされていない箇所所有者や管理者の探索を進めます。また、管理者の変更を適宜把握し情報の更新をするなど適正化を図ります。

防災工事を進める際は、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき、劣化や豪雨・地震に対する評価などを行った上で、学校などの避難所や防災活動の拠点となる施設への浸水による影響の有無なども考慮しながら防災工事の優先度を定め、計画的に推進していきます。なお、防災工事の実施に当たっては、地域の自然環境との調和に配慮しながら進めます。

適正な管理体制を確保していくため、管理者に対する技術的なサポートとため池の状態を定期的に把握していく仕組みを構築します。



【写真1】補強工事（改修）



【写真2】廃止工事（開削）

#### 【参考2】防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画（広島県策定）

防災重点農業用ため池の防災工事（補強・廃止）等を集中的かつ計画的に推進するため「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき「防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画」を広島県が策定（計画期間：令和3～12年度）

# 16 流域治水プロジェクトに基づくハード・ソフト 一体となった治水対策の推進

土木建築局

## 提案の要旨

気候変動による豪雨の頻発化・激甚化を見据え、流域治水プロジェクトに基づく河川改修など効果的な事前防災の加速化や適切な維持管理の推進をお願いします。

## 現状及び課題

呉市は、平成30年7月豪雨により、多くの河川が氾濫し、道路の冠水や宅地の大規模な浸水によって、甚大な被害が発生しました。

最も浸水被害が大きかった安浦地区においては、二級河川野呂川水系で河道に流れ込んだ土砂や流木によって野呂川がいつ水し、中畑川では破堤や越水が発生した結果、中心市街地では約60ヘクタールの区域が浸水し、数多くの家屋が被害を受けるとともに、大規模店舗などが復旧を断念し閉店するなど、市民生活に大きな影響が発生しています。

また、これまでも度々浸水被害が発生している中央地区においても、二級河川堺川水系（堺川・内神川）の氾濫によって、防災中枢拠点である呉市役所本庁舎周辺の道路が冠水し、避難行動や救命救急活動に支障を来しました。

こうした中、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化を見据え、広島県においては令和3年度に河川や流域、避難・水防に関する対策を含めた「流域治水プロジェクト」を策定されたところであり、その効果的な対策として、野呂川水系及び堺川水系における河川改修の加速化や、河川が本来有する機能を十分に発揮し浸水被害を最小限に抑えるための計画的な浚渫しゅんせつなど適切な維持管理の推進が重要だと考えています。

さらには、住民の主体的な避難行動を促すための、よりきめ細やかな水害情報の提供などソフト対策の充実が重要だと考えています。

呉市の浸水戸数

(水害統計調査より)

時 期	床下浸水	床上浸水	主な浸水箇所
平成11年度	640戸	821戸	呉市中心部
平成21年度	1戸	5戸	呉市中心部
平成22年度	283戸	129戸	呉市中心部
平成30年度	785戸	625戸	呉市中心部・安浦町

## 取組状況等

### 河川関係要望活動

令和5年 7月・10月 国土交通省中国地方整備局、広島県に要望  
 令和5年10月 国会議員、財務省、国土交通省に要望  
 令和5年11月 治水事業促進全国大会

### 事業予定

時 期	中畑川	内神川
令和6年度	設計, 用地買収, 工事	工事
令和7年度	工事	工事

## 提案の内容

### ○ 流域治水対策の推進

令和3年度に策定された「流域治水プロジェクト」に基づき、県・市などの関係者が連携して取組を進めており、呉市においては普通河川の改修や浚渫、内水対策、利水ダムでの事前放流、避難体制の強化などに取り組んでいるところです。引き続き、ハード・ソフト一体となった総合的な治水対策の推進をお願いします。

#### ・ 二級河川野呂川水系中畑川の早期改修

令和2年度に策定された河川整備計画に基づき、早期改修をお願いします。また、事業実施に際しては、地元説明会の開催等、地域住民への丁寧な説明をお願いします。

#### ・ 二級河川堺川水系内神川の早期改修

防災中枢拠点である呉市役所周辺の浸水対策として早期改修をお願いします。

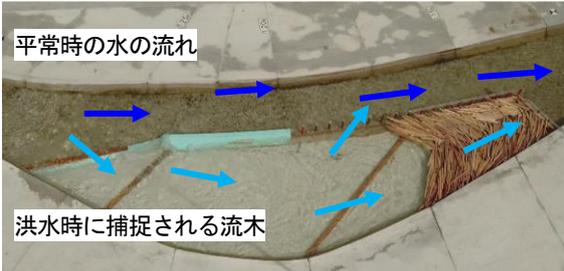
【安浦地区の浸水被害（平成30年7月7日）】



【中央地区（市役所周辺）の浸水被害（平成30年7月7日）】



【中畑川流木捕捉施設（模型実験）】



【内神川の工事状況（分水路整備）】



流木捕捉施設については令和7年度完成目標



# 17 防災中枢拠点である中央公園の更なる機能強化

都市建築技術審議官

## 提案の要旨

大災害に備え、防災中枢拠点である呉市役所本庁舎の災害対応能力を向上させるために、中央公園の機能強化に必要な予算の確保をお願いします。

## 現状及び課題

近年、異常気象と自然災害が激化し、巨大地震が切迫していることから、想定される災害応急活動等の役割に応じた機能を複合的に有する防災拠点の整備は不可欠です。

中央公園は、呉市地域防災計画において、発災直後の広域避難場所に指定されており、災害対応時には隣接する呉市役所本庁舎と一体となって市の中核的な防災活動を担う防災中枢拠点として位置付けられています。

しかしながら、現在の中央公園は大雨の度に園内を流れる内神川のいっ水により浸水し、さらには避難者の受入れに必要な面積も不足しているなど、避難場所・防災拠点として求められる機能が十分に確保されていません。

このため呉市では、広島県による内神川の整備と併せて、中央公園を防災公園として整備し、防災機能の強化を図ることとしています。

防災公園は、市民の皆様により日常的に利用いただき、親しんでいただくことで、災害時にも迅速な避難が可能となり、スムーズに利用いただけるものと考えており、このため平時においても魅力的で利便性が高く、多様な機能を備えた公園を整備していくことが重要だと認識しています。

大災害に備え、防災公園として機能強化を図る中央公園の計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。

## 取組状況等

### 公園関係要望活動

令和5年5月 国会議員、財務省、国土交通省に要望

### 事業予定

時期	中央公園防災整備事業
令和6年度	整備工事（自由広場等）
令和7年度	整備工事（自由広場等）

### 事業経緯

昭和47年 中央公園完成

平成11年6月 6.29豪雨により浸水  
(以降、平成21年7月、平成22年7月、平成30年7月に浸水)

平成24年5月 呉市地域防災計画策定  
(防災中枢拠点かつ中央地区の広域避難場所に位置付け)

平成28年度 中央公園整備基本計画

平成29年度～平成30年度 基本設計

令和元年度 平成30年7月豪雨による被災を踏まえた基本計画の検証

令和2年度～令和3年度 実施設計

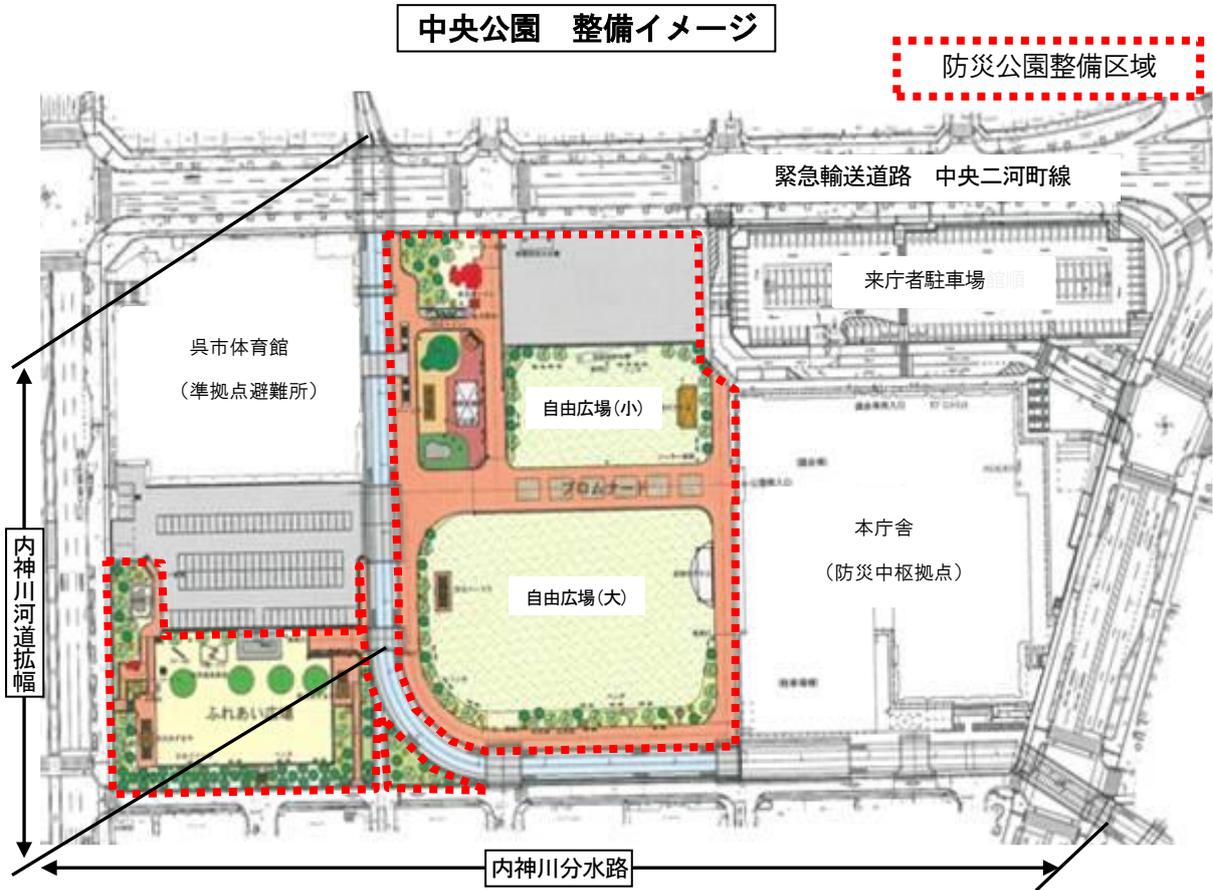
令和3年度～令和5年度 整備工事（ふれあい広場）

令和5年度～ 整備工事（自由広場）

## 提案の内容

### ○ 防災中枢拠点である中央公園の機能強化

安全で安心な都市づくりには、都市の防災機能の向上が不可欠です。県の内神川河川改修事業と一体で行う中央公園の防災機能の強化に必要な予算の確保をお願いします。



#### 呉市体育館

- ▶ 避難所機能
- ▶ 救護機能
- ▶ 防災備蓄機能

#### 中央公園

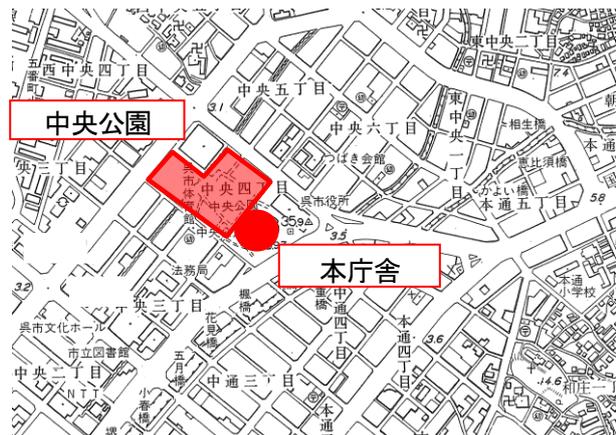
- ▶ 本庁舎と一体としての防災中枢拠点
  - ・ 緊急車両・避難者駐車スペース
  - ・ 救援物資置場
  - ・ 耐震性防火水槽
  - ・ 防災トイレ
  - ・ 炊き出しスペース等
  - ・ ソーラー照明灯
  - ・ 最高津波水位以上の盛土工事

#### 本庁舎

- ▶ 市災害対策本部
- ▶ 情報中枢拠点
- ▶ 中央地区の防災総合拠点機能



H11.6 浸水状況



# 18 社会資本の適切な維持管理の推進

土木建築局・農林水産局

## 提案の要旨

将来にわたる安全性の確保と財政負担の軽減を両立させるため、予防保全の徹底に必要な予算の確保と人的・技術的支援等の拡充をお願いします。

## 現状及び課題

呉市は、戦時中に大規模な空襲により焼け野原となり、終戦直後には枕崎台風により壊滅的な被害を受けたことで、都市の復興が大きな課題となっていました。その後、昭和21年に制定された特別都市計画法に基づき復興事業を行うべき戦災都市に指定され、社会インフラの整備が急速に行われたことで、短期間で都市を再生することができました。

このため、呉市の社会インフラは昭和25年から昭和45年にかけて整備されたものが多く、土木施設の老朽化のペースは他都市を大きく上回っています。例えば、今から10年後に建設後50年を経過する橋りょうの割合は、全国平均は約6割ですが、呉市は約8割となっており、老朽化対策は喫緊の課題となっています。

こうした中、令和2年度から道路メンテナンス事業補助制度が創設され、計画的な修繕が可能となりとても感謝しています。

しかしながら、呉市は令和6年3月末時点で、早期に措置を講ずべき道路施設（橋りょう、横断歩道橋、トンネル）のうち、修繕を終えた割合は、約60パーセントとなっており、修繕工事の一層の推進が急務となっています。

また、道路舗装については、令和3年度から制度拡充された緊急自然災害防止対策事業債の活用により計画的な舗裝修繕に取り組むことが可能となりましたが、将来にわたり、安全性の確保と財政負担の軽減の両立を図るためには、こうした支援制度の継続・拡充が必要です。

社会インフラが求められる機能を十分に発揮するためには、適切な維持管理が不可欠であり、効率的・効果的な維持管理を行うためには予防保全を徹底することが重要だと考えています。

## 取組状況等

道路橋りょう等の点検結果※トンネルの判定IVは仁方<sup>（たにがた）</sup>隧道で、国土交通省直轄修繕代行業により実施済み（令和5年3月）

	判定 総数	健全Ⅰ		予防保全段階Ⅱ		早期措置段階Ⅲ		緊急措置段階Ⅳ	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
橋りょう	990	377	38%	437	44%	171	17%	0	0%
横断歩道橋	17	6	35%	5	30%	6	35%	0	0%
トンネル	14	1	7%	8	57%	4	29%	1	7%

## 事業予定

時期	道路橋りょう等	基幹農道整備事業	公園施設更新
令和6年度	長大橋ほか32橋（R5補正を含む。） 道路舗装老朽化対策（舗裝修繕）	蒲刈大橋	伏原西公園 ほか25公園
令和7年度	七丁目橋ほか20橋 道路舗装老朽化対策（舗裝修繕）	蒲刈大橋	蔵本公園 ほか12公園

## 事業経緯

事業	内容
道路事業	令和元年度 橋りょう長寿命化修繕計画改訂，トンネル長寿命化修繕計画策定， 横断歩道橋長寿命化修繕計画策定 令和2年度 道路舗裝修繕計画策定
基幹農道整備事業 （農道保全）	令和4年度～ 安芸灘3期地区（蒲刈大橋・豊浜大橋） 事業着手
公園事業	令和2年度 第3次公園施設長寿命化計画策定

## 提案の内容

### ○ 社会資本の適正な維持管理に係る財源確保と支援の拡充

将来にわたる安全性を確保し、国全体の財政負担を軽減するため予防保全を徹底し、長寿命化修繕計画に基づき計画的修繕が行えるよう点検と対策に必要な予算について、別枠・補助事業による確保をお願いします。

また、効率的・効果的に対策を推進するため、人的・技術的支援の拡充をお願いします。

### ○ 農道渡海橋の補修支援

地域の基幹道路として県営事業で建設していただいた農道渡海橋の診断解析や保全対策・耐震補強には高度な技術力が必要なことから、県営基幹農道整備事業（農道保全）として保全対策・耐震補強を実施していただき感謝しています。

今後も住民生活に欠くことのできない農道渡海橋の補修支援をお願いします。

#### 修繕予定の橋りょう

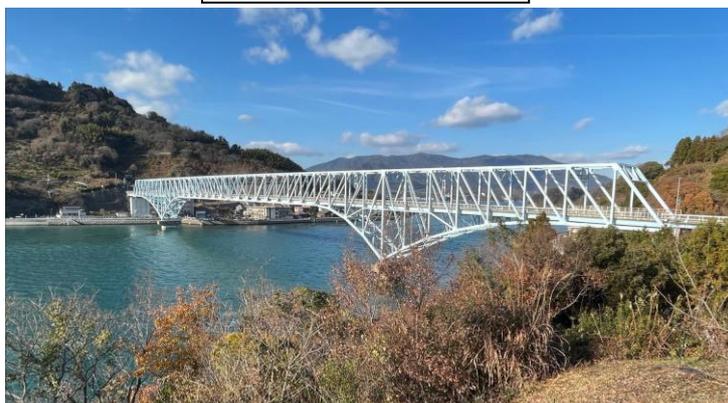


長大橋 健全度Ⅲ



大正橋 健全度Ⅲ

#### 農道渡海橋 蒲刈大橋



上部工耐震補強

#### 公園施設更新



老朽化した遊具の更新（令和5年度 瀬戸見第2公園）

# 19 海岸事業（高潮対策）の早期完成

土木建築局・農林水産局

## 提案の要旨

巨大地震による津波，気候変動による台風の大規模化を見据え，事前防災対策として海岸事業（高潮対策）の早期完成をお願いします。

## 現状及び課題

呉市は，古くから造船，海運，漁業等の産業や海水浴，クルージングなどのレジャー等，海と向き合い海の恵みを受けながら発展してきた都市であり，呉市の海岸線の延長は，全国屈指であり，県内市町では最も長い336kmあります。

海は，我々に多くの恵みと安らぎを与えてくれるものですが，突然，地震や台風とともに甚大な災害をもたらすこともあり，特に近年では，巨大地震の切迫と異常気象の激化により，災害リスクが高まっています。

呉市は，多くの海岸線を有する上，地形的制約から海と山に挟まれた狭小な土地に市街地が形成されていることから，高潮災害は脅威であり，平成16年には旧呉市及び倉橋町において負傷者17名，家屋全壊11戸，半壊163戸，床上浸水723戸等の甚大な被害が発生しています。

これまでも，建設海岸・港湾海岸・漁港海岸・農地海岸と，それぞれの管理者によって，精力的に高潮対策事業を進めていただきましたが，気候変動に伴う海面水位の上昇により，高潮・高波のリスクが増大しており，港湾・漁港等の既存施設の被害も懸念しています。

令和元年度にも台風15号・19号により，日本各地で甚大な被害が発生しており，高潮災害を未然に防ぐために，これまでどおり海岸管理者の皆様が連携して高潮対策に取り組んでいただくことと，適切な維持管理を推進していただくことが重要だと考えています。

## 取組状況等

### ○広島県地方港湾整備促進期成同盟会（会長：三原市長）【R6.3.31現在】

構成団体 9市1町（呉市，竹原市，三原市，尾道市，福山市，大竹市，東広島市，廿日市市，江田島市，大崎上島町）  
・令和5年10月 国会議員，国土交通省に要望

### ○広島県漁港協会（会長：呉市長）【R6.3.31現在】

構成団体 12市町及び漁業関係者を含む77団体  
・令和5年11月 自民党広島県連，広島県に要望

### ○整備状況

区分	海岸名	地区名	ひろしま海岸防災プラン2021※
建設海岸	呉海岸	天応	R7までに完成
		警固屋	R7以降も継続
港湾海岸	蒲刈港海岸	三之瀬	R7以降も継続
		大浦	R7以降も継続
	御手洗港海岸	北堀	R7以降も継続
		南堀	R7以降も継続
漁港海岸	音戸漁港海岸	鯛浜	R7以降も継続
	倉橋漁港海岸	大向	R7以降も継続
		尾立	R7以降も継続
		家之元	R7までに完成
	豊島漁港海岸	内浦	R7以降も継続
		立花	R7までに完成
農地海岸	倉橋海岸	脇田第2期	R7以降も継続
		本倉井	R7以降も継続

※ ひろしま海岸防災プラン2021は，県が策定した海岸整備事業に係る5か年実施計画（R3～R7）

## 提案の内容

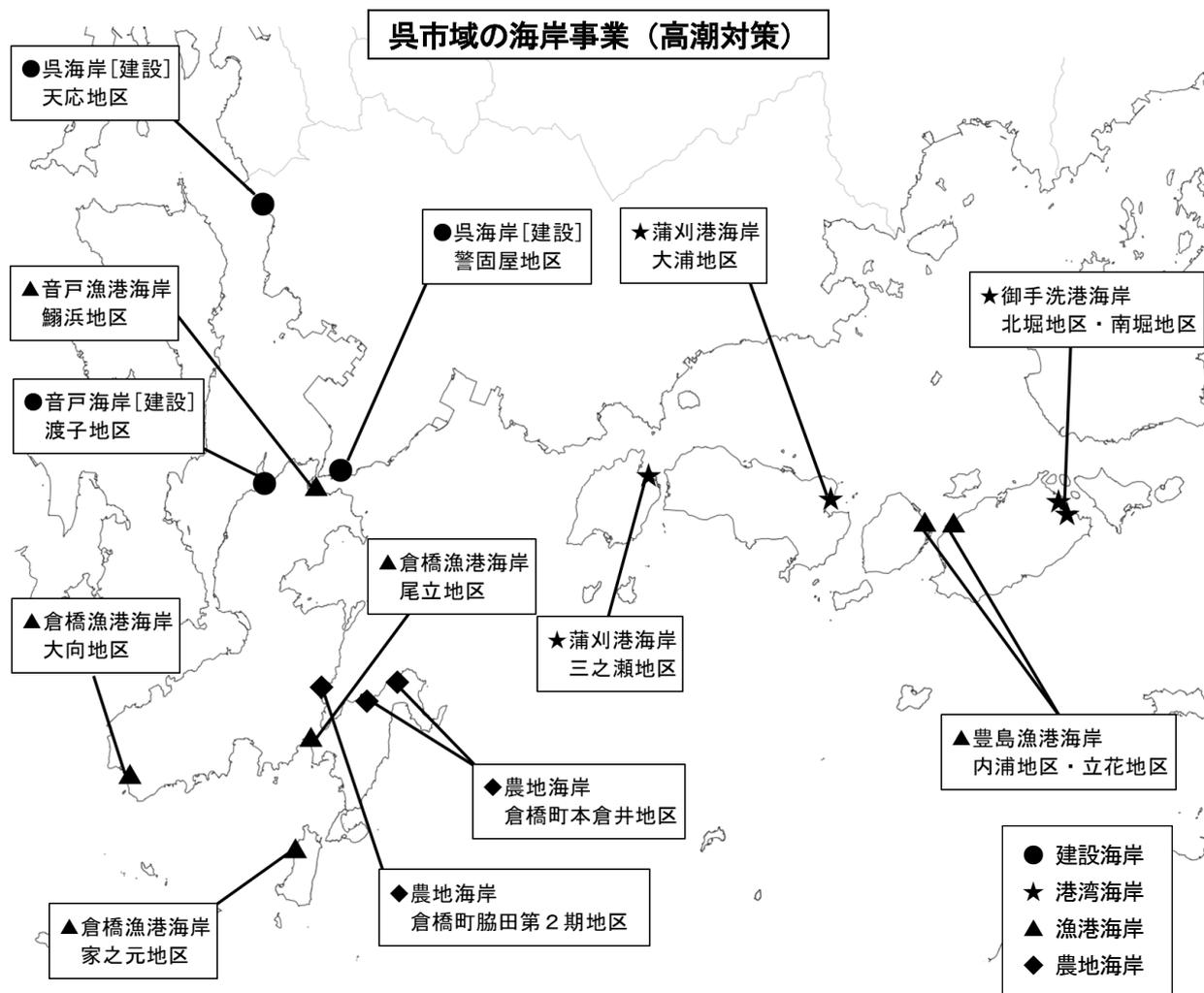
### ○ 高潮対策事業（建設海岸・港湾海岸・漁港海岸・農地海岸）の早期完成

台風・津波等の災害から生命・財産を守るため、「ひろしま海岸防災プラン2021」に位置付けられた事業の早期完成と、施設が本来有する機能が十分に発揮されるよう適切な維持管理をお願いします。

### ○ 高潮対策が必要な海岸の早期事業化

大規模な災害に備え、防護が必要な海岸の早期事業化をお願いします。

[新規] 建設海岸 音戸海岸（渡子地区）



高潮による海岸施設・背後人家の被害の軽減



呉海岸天応地区

平成16年被災状況

高潮による農作物の被害の軽減



農地海岸 倉橋町本倉井地区 平成29年着手

## 20 地方港湾の整備促進

土木建築局

### 提案の要旨

地域住民の利便性及び防災力の向上のための地方港湾の整備促進をお願いします。

### 現状及び課題

呉市は多くの島しょ部を擁し、当該地域における港湾施設は住民生活と産業活動を支える社会基盤であるとともに、背後の人命・財産を高潮・津波等の災害から防護する重要な役割を担っています。

特に、近年、港を取り巻く環境は、地域間の交流や島々を楽しむための観光客の増加など、著しい変化があり、海上交通を活用した港間の交流は地域活性化につながっています。

また、平成30年7月豪雨災害のような大規模災害時において、海上交通は陸路を代替する島しょ部のライフラインとして必要不可欠な交通手段となります。

このため、地域住民の利便性向上による地域活性化、災害時等の際に防災力の向上を図るには、合併建設計画に位置付けられている事業を始めとする地方港湾の早急な整備が重要な課題となっています。

### 取組状況等

#### 【事業一覧】

港名	地区名	内 容	事業期間	備考
御手洗	三 角	港整備交付金事業（防波堤改良）	平成24年度～	合併建設計画
釣土田	藤脇・早瀬	港整備交付金事業（防波堤改良）	平成27年度～	

#### 【要望活動】

広島県地方港湾整備促進期成同盟会（会長：三原市長）【R6. 3. 31現在】

対象港湾：県及び市町が管理する40の港湾

構 成 員：県内9市1町

○広島県と連携して、県及び市町管理の地方港湾に関する港湾施設整備の促進に積極的に取り組んでいる。

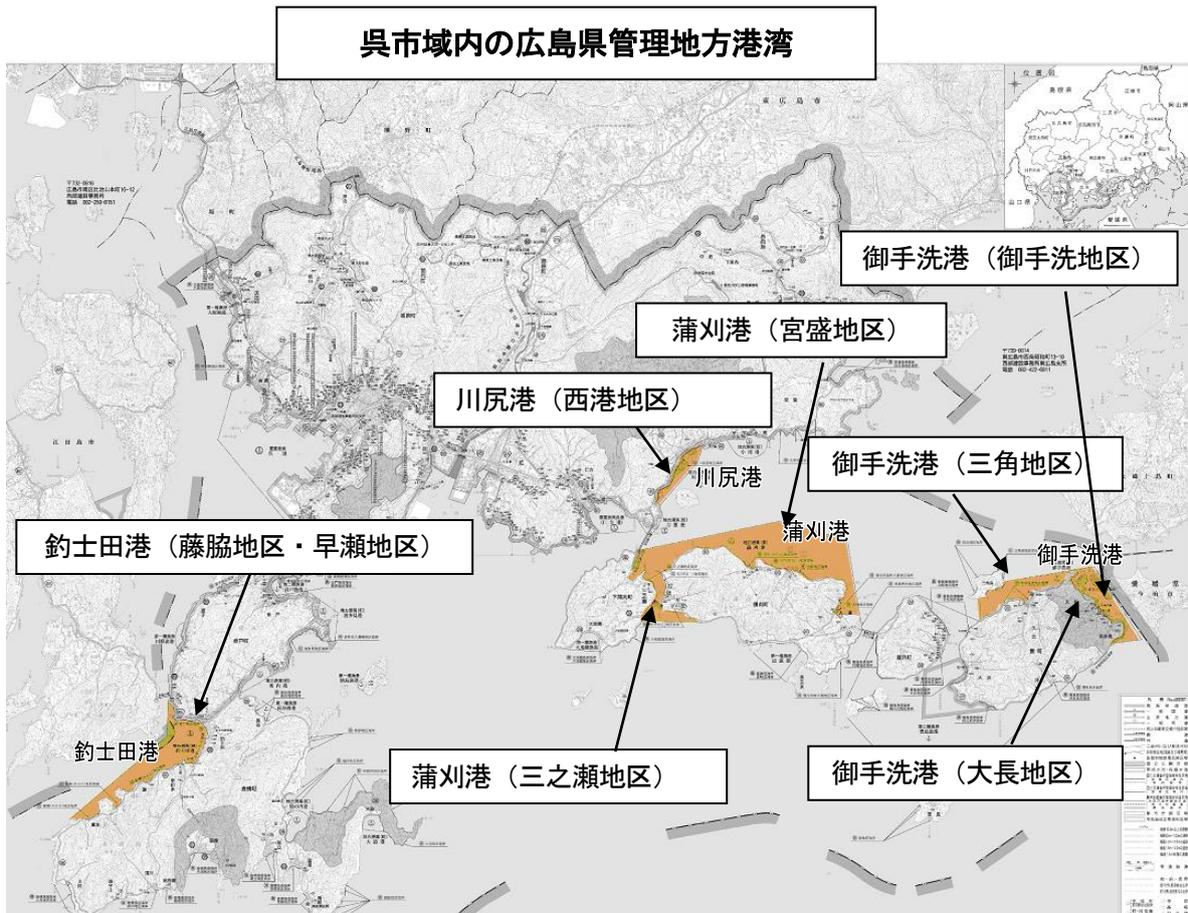
○地元選出国會議員、国土交通省（中国地方整備局含む。）へ要望活動を実施している。

## 提案の内容

### ○ 地方港湾の整備促進

島しょ部地域における港湾施設は、地域の物流、産業、生活等の諸活動を支える社会基盤として重要な役割を担っており、当該地域の持続的発展のために、整備の促進をお願いします。

また、台風・津波等の災害から市民の生命・財産を守るため、地方港湾における、防波堤整備等の防災対策の実施をお願いします。



釣士田港 (藤脇)  
港整備交付金事業 (防波堤改良)



御手洗港 (三角)  
港整備交付金事業 (防波堤改良)



## 21 漁港の整備促進

土木建築局

### 提案の要旨

地域の重要な生活基盤である漁港の整備促進をお願いします。

### 現状及び課題

呉市は、県内の5分の1の漁業総生産額漁業を担う県内有数の水産物供給地域であり、特に島しょ部地域等においては、漁業が重要な生活基盤となっており、水産業を魅力ある産業として次世代に伝えていくことは地域の発展に寄与するものです。

また、漁港施設は、地域環境の変化による大規模な自然災害から漁村地域住民の生命・財産を守るとともに、大規模災害時における必要不可欠な地域のライフラインとして、重要な役割を担っています。

これら地域全体の安定的発展のためには、漁港施設の長寿命化を図り、計画的な保全・更新工事を実施するとともに、地域の活性化に向けた漁港の着実な整備が必要となっています。

### 取組状況等

#### 【事業一覧】

漁港名	地区名	内 容	事業期間
音 戸	坪 井	港整備交付金事業（防波堤）	令和6年度～
倉 橋	室 尾	港整備交付金事業（防波堤）ほか	平成29年度～
	本 浦	港整備交付金事業（防波堤・浮棧橋）	平成29年度～
	須川 外	水産物供給基盤機能保全事業（防波堤・浮棧橋等）	平成26年度～
豊 島	沖友・丸山	水産物供給基盤機能保全事業（物揚場・浮棧橋等）	平成24年度～
	金 崎	港整備交付金事業（防波堤）	令和4年度～
安 浦	三 津 口	水産物供給基盤機能保全事業（防波堤・浮棧橋等）	平成24年度～

#### 【要望活動】

広島県漁港協会（会長：呉市長）【R6.3.31現在】

対象漁港：県及び市が管理する44の漁港

構 成 員：県内12市町及び漁業関係者を含む77団体

○広島県と連携し県及び市管理の漁港・漁場の環境整備等の促進について積極的に活動している。

○自由民主党広島県支部連合会及び広島県へ要望活動を実施している。

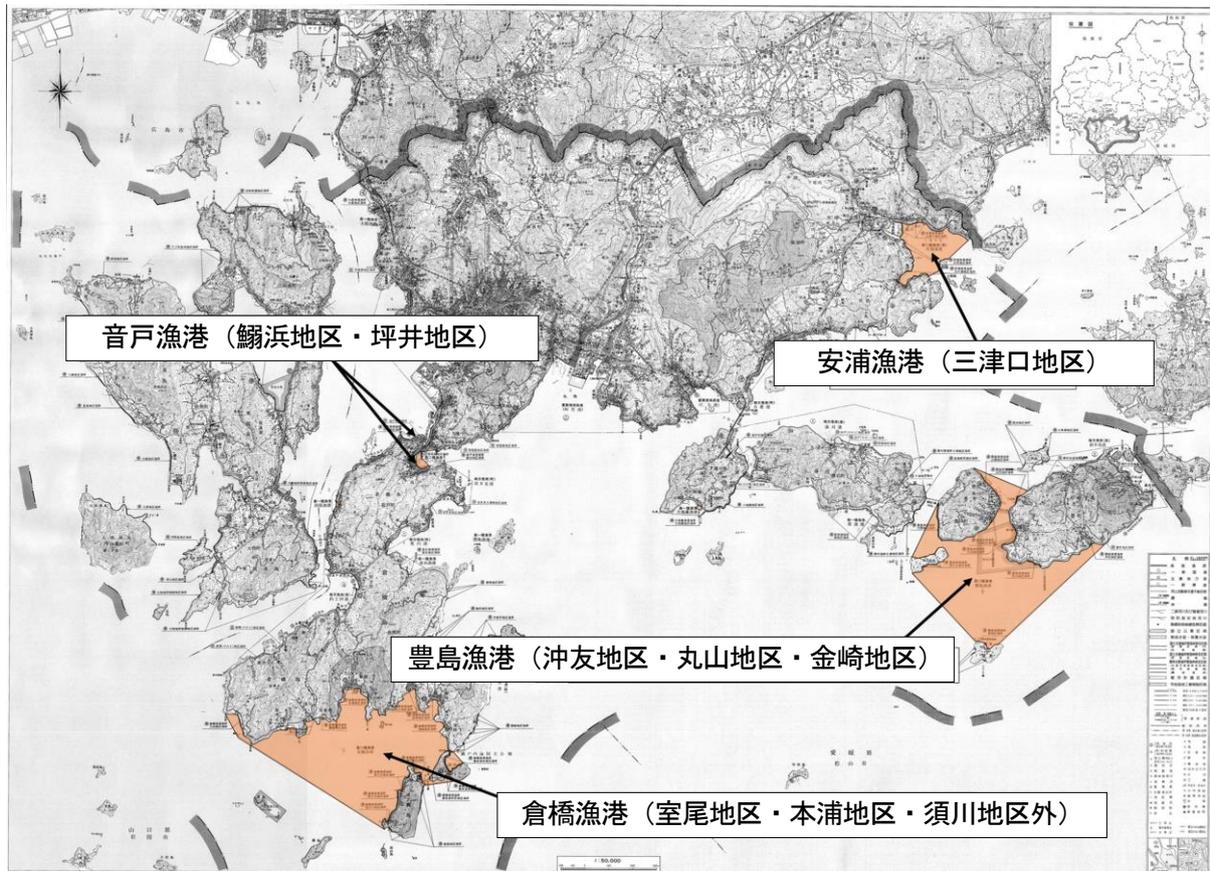
## 提案の内容

### ○ 漁港の整備促進

県管理漁港（第2種漁港：4漁港）について、機能保全計画に基づく保全工事の実施をお願いします。

また、安全で効率的な漁業活動のため、防波堤や浮棧橋の整備をお願いします。

### 呉市域内の漁港



倉橋港（本浦）  
港整備交付金事業（浮棧橋・防波堤）



豊島港（丸山）  
水産物供給基盤機能保全事業（浮棧橋修繕）



## 22 警察力の充実・強化

警察本部

### 提案の要旨

昭和地区における警察力の充実・強化をお願いします。

### 現状及び課題

呉市では、広島県警察本部が進める『減らそう犯罪』広島県民総ぐるみ運動の趣旨を踏まえ、所轄警察署や防犯連合会等の各関係機関・団体との連携を強化するとともに、市民協働による自主防犯活動などのまちづくり活動の促進を図ることにより、生活に身近な犯罪は減少傾向にあります。

しかしながら、依然として子どもやお年寄りを巻き込む犯罪も発生している状況から、市民を守り、本当に安心して暮らせるまちづくりを進めるためには、地域住民の生活に密着した交番や駐在所の存在が非常に重要な意義を持つと考えています。

特に、昭和30年代後半からの団地開発により人口が増加した昭和地区においては、約3万1千人の人口であるにもかかわらず、いまだに交番が1か所あるのみで、他の地域に比べ交番の受持区域人口や面積が極めて過大となっています。

現在、当該地区住民の高齢化率は35パーセントで、10年前の30パーセントと比べて5ポイントも上昇していることから、防犯上の不安を強く感じているところです。

また、主要地方道呉環状線を始め、地区周辺の幹線道路の整備も着実に進められるなど、当該地区を取り巻く交通環境が変わりつつある中、交通事故や犯罪の広域化が強く懸念されています。

令和2年11月に広島県警察本部が策定した「『減らそう犯罪』第5期ひろしまアクション・プラン」において、交番等における地域の実情に即した警察活動の推進について掲げられています。当該地区における交通安全活動や自主防犯活動などのほか、警察の迅速かつ的確な対応による安全・安心のまちづくりを一層強く推進するためにも、交番や駐在所の増設、体制の充実等が必要になっています。

### 取組状況等

- |         |    |   |
|---------|----|---|
| 平成13.   | 11 | 県警察本部地域部地域課へ「交番の整備促進」の要望書を提出                            |
| 平成15.   | 1  | 安全パトロール活動を開始  |
| 平成15.   | 7  | 昭和地区自治会連合会長ほか昭和地区各団体の長が知事へ「昭和地区への警察署の新設について」の要望書を提出     |
| 平成15.   | 8  | 昭和地区自治会連合会長ほか昭和地区各団体の長が県警察本部長へ「昭和地区への警察署の新設について」の要望書を提出 |
| 平成16.   | 4  | 「呉市犯罪防止による安全なまちづくり推進条例」施行                               |
| 平成17.   | 3  | 昭和地区防犯パトロール隊の結成   |
| 平成18年度～ |    | 県知事、県議会議長、県警察本部長へ「警察力の充実・強化」についての提案書を提出                 |
| 平成21.   | 3  | 呉市内全地区で、自主防犯活動なども盛り込んだ「地域まちづくり計画」策定完了                   |

## 提案の内容

### ○ 昭和地区における警察力の充実・強化

昭和地区において、交番や駐在所の増設、警察官の増員など、警察力の充実・強化を図るようお願いします。

署名	交番・駐在所名	職員数	面積 (km <sup>2</sup> )	受持区域人口 (人)	刑法犯認知件数 (令和5年中)		
呉 警 察 署	本通二丁目交番	9	20.07	46,114	116		
	本通六丁目交番	6			28		
	東中央交番	6			47		
	呉駅交番	6			102		
	海岸交番	3			35		
	吉浦交番	3			8.12	9,173	14
	警固屋交番	3			4.20	3,805	21
	宮原交番	3			3.95	6,446	17
	天応交番	3			3.95	3,624	3
	焼山交番	9			27.76	30,882	58
(旧音戸分庁舎) 警察署	(分庁舎)	12	18.75	10,275	14		
	畑駐在所	1			3		
	田原駐在所	1			12		
	本浦駐在所	1			5		
	須川駐在所	1			54.46	4,448	2
	室尾駐在所	1			2		
広 警 察 署	阿賀交番	6	14.57	13,752	54		
	大入駐在所	1			2		
	中新開交番	9			121		
	広駅前交番	6			32.73	42,956	60
	長浜駐在所	1			5		
	仁方交番	3			10.51	5,760	13
	郷原駐在所	1			20.94	4,286	9
	下蒲刈駐在所	1			8.72	1,156	3
	川尻駐在所	1			16.85	7,462	25
	蒲刈駐在所	1			18.98	1,381	6
	安浦駐在所	2			63.54	9,507	29
	安登駐在所	1			10		
	豊浜駐在所	1			11.68	1,099	18
	豊駐在所	1			14.08	1,423	15
合計	103	352.80	203,549	849			

注1：職員数は、令和6年4月1日現在

注2：面積（平成24年10月1日市勢便覧）は、支所区域面積のため、交番・駐在所受持区域とは異なる場合がある。

注3：受持区域人口は、支所区域による人口のため、交番・駐在所の受持区域人口とは異なる。（令和6年3月末現在 住民基本台帳による）

注4：刑法犯認知件数は、広島県警察ホームページによる。

注5：各警察署で認知した管轄外の事件は含んでいない。

## 23 生活交通の維持・確保

地域政策局

### 提案の要旨

「生活バス（コミュニティバス）」や生活航路などの生活交通の維持・確保をお願いします。

### 現状及び課題

呉市の公共交通は、市域を東西に貫くJR呉線と市域の広範囲をカバーする路線バスを基軸とし、これらを補完する移動手段として、市が運行主体の「生活バス」や、本土と離島とを結ぶ民間航路等で構成されており、いずれの交通機関も市民生活に不可欠な移動手段となっています。

呉市では、民間事業者が運行する路線バスや「生活バス」等への運行支援に加え、民間航路についても、県からの補助金を受けながら、運航経費の一部を市単独で助成することにより、生活交通の維持・確保に努めています。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少した運賃収入が、早期にコロナ禍以前の水準にまで回復することは想定し難い上に、物価高騰等による費用増により、生活交通の維持・確保に必要な市の財政負担は、高い水準での推移が続いており、一般会計に占める公共交通関連経費の割合が、中核市の中で一番となっています。

また、公共交通の担い手不足が全国的に問題となっており、呉市においても、特に生活バスの運転手を確保することが困難になっています。

こうした厳しい状況の中、国においては、地域交通の「リ・デザイン」の具体化に向け、法改正や予算措置が行われ、また、本市においても、令和2年度に策定した「呉市地域公共交通網形成計画」の令和6年度末の期間満了に伴い、次期計画となる「呉市地域公共交通計画（仮称）」の策定に取り組んでいるところです。

県においては、従来から生活交通路線及び生活航路等の維持・確保に向け、対策を講じていただいているところですが、将来にわたり安定的に生活交通の維持・確保をしていくためにも、より一層の取組が求められています。

### 取組状況等

#### ○ 呉市内生活バス路線等名、路線・系統数及び市負担額（総額463,250千円）

路線等名	路線・系統数	市負担額 (R5年度決算見込)	路線等名	路線・系統数	市負担額 (R5年度決算見込)
下蒲刈地区	1路線 4系統	12,702千円	呉苗代下条線	1路線 1系統	60,420千円
川尻地区	1路線 2系統	16,385千円	北原神山峠線	1路線 1系統	
倉橋地区	4路線 14系統	26,409千円	見晴町線	1路線 1系統	
安浦地区	2路線 11系統	18,248千円	阿賀音戸の瀬戸線	1路線 3系統	65,206千円
音戸さざなみ線	1路線 3系統	19,167千円	田原藤の脇線	1路線 2系統	44,842千円
白石白岳交差点循環線	1路線 3系統	30,642千円	仁方小須磨線	1路線 1系統	16,112千円
横路交差点循環線	1路線 4系統		広長浜線	1路線 2系統	55,700千円
昭和循環線（北・中央・南）	3路線 7系統	36,363千円	広川尻線	1路線 2系統	37,954千円
			三条二河宝町線	1路線 2系統	23,100千円

#### ○ 乗合タクシー路線等名、路線・系統数及び市負担額（総額5,900千円）

路線等名	路線・系統数	市負担額 (R5年度決算見込)	路線等名	路線・系統数	市負担額 (R5年度決算見込)
吉浦地区	1路線 7系統	4,100千円	警固屋地区	1路線 1系統	1,800千円

#### ○ 呉市域生活航路及び市負担額（総額77,638千円）

種別	航路名	市負担額 (R5年度決算見込)	路線等名	路線・系統数	市負担額 (R5年度決算見込)
離島航路	三角～久比航路	30,788千円	生活航路	情島航路	7,850千円
	斎島～久比航路			小長～明石航路	39,000千円

#### ○ 【参考】呉市内路線バス

路線・系統数：8路線・43系統、市負担額（令和5年度決算見込）：542,325千円



## 24 併設型中高一貫教育校の設置

教育委員会

### 提案の要旨

併設型中高一貫教育校の設置をお願いします。

### 現状及び課題

呉市では、令和4年3月、呉市教育大綱を踏まえ、呉市教育振興基本計画を策定しました。これらを受け、学校教育では、「未来を創る人材の育成」を目指し、社会で自立して生きていくために必要な確かな学力、豊かな心、健やかな体といった基礎的な力を身に付けるための9年間を見通した教育を推進しています。

また、幼児教育、高等学校教育等とのつながりを大切にした教育をこれまで以上に進め、これからの新しい時代を切り拓くために必要な資質・能力の育成を目指しています。

一方、少子高齢化が進む呉市においては、若年層の定着を目指したまちづくりに取り組んでいるところですが、小学校卒業時に一部の児童が、市外の国公立・私立中学校へ進学するという状況もあり、多様なニーズに対応した教育が求められています。

こうしたことから、グローバル社会に通用する資質・能力を身に付け、郷土の良さや素晴らしさを知り、地域社会に貢献しようとする人材を育成するために、併設型中高一貫教育校を設置し、系統的なカリキュラムを組むことで、多様な教育の充実を図ることができると考えています。

【呉市の学校数】 呉市立小学校 34校、呉市立中学校 24校、  
呉市立義務教育学校 1校、私立中学校 1校、呉市立高等学校 1校、  
県立高等学校 7校、私立高等学校 3校、県立特別支援学校 2校

### 取組状況等

#### 【義務教育】

これまで進めてきた小中一貫教育の原点である「中1ギャップの解消」と「自尊感情の向上」を大切にし、子どもたち一人一人の自己肯定感や自己存在感を育み、未来を生きるために必要な資質・能力を育成する教育活動を展開しています。施設一体型、分離型、令和5年度から開校した義務教育学校と、それぞれの形態で、特色を生かした取組を進めながら、「未来を創る人材の育成」を目指しています。

#### 【高等学校教育等】

呉市立呉高等学校を始め県立高等学校、私立高等学校等において、地域の特性や社会のニーズに対応した一人一人の個性に合わせた教育活動が展開されています。



#### 【その他】

- 呉地区公立学校校長会連合会による研修会等の実施
  - ・ 本県教育の振興に資することを狙いとし、学校経営委員会、学習指導委員会、生徒指導委員会及び進路指導委員会を立ち上げ、学校教育に関わる諸問題の研究、協議、情報交換の実施等、小学校、中学校及び高等学校が連携した専門的な取組が行われています。
- 呉地区生徒指導研究推進協議会の実施
  - ・ 小学校、中学校及び高等学校の連携を強化し、呉地区児童生徒の健全育成を図ることを狙いとし、研究実践交流や情報交換が計画的・継続的に行われています。
- 事務局レベルでの協議の実施
  - ・ 広島県教育委員会に対し、協議の場を設けることを要望し、年2回実施しています。

## 提案の内容

### ○ 広島県立呉三津田高等学校への併設型中高一貫教育校の設置

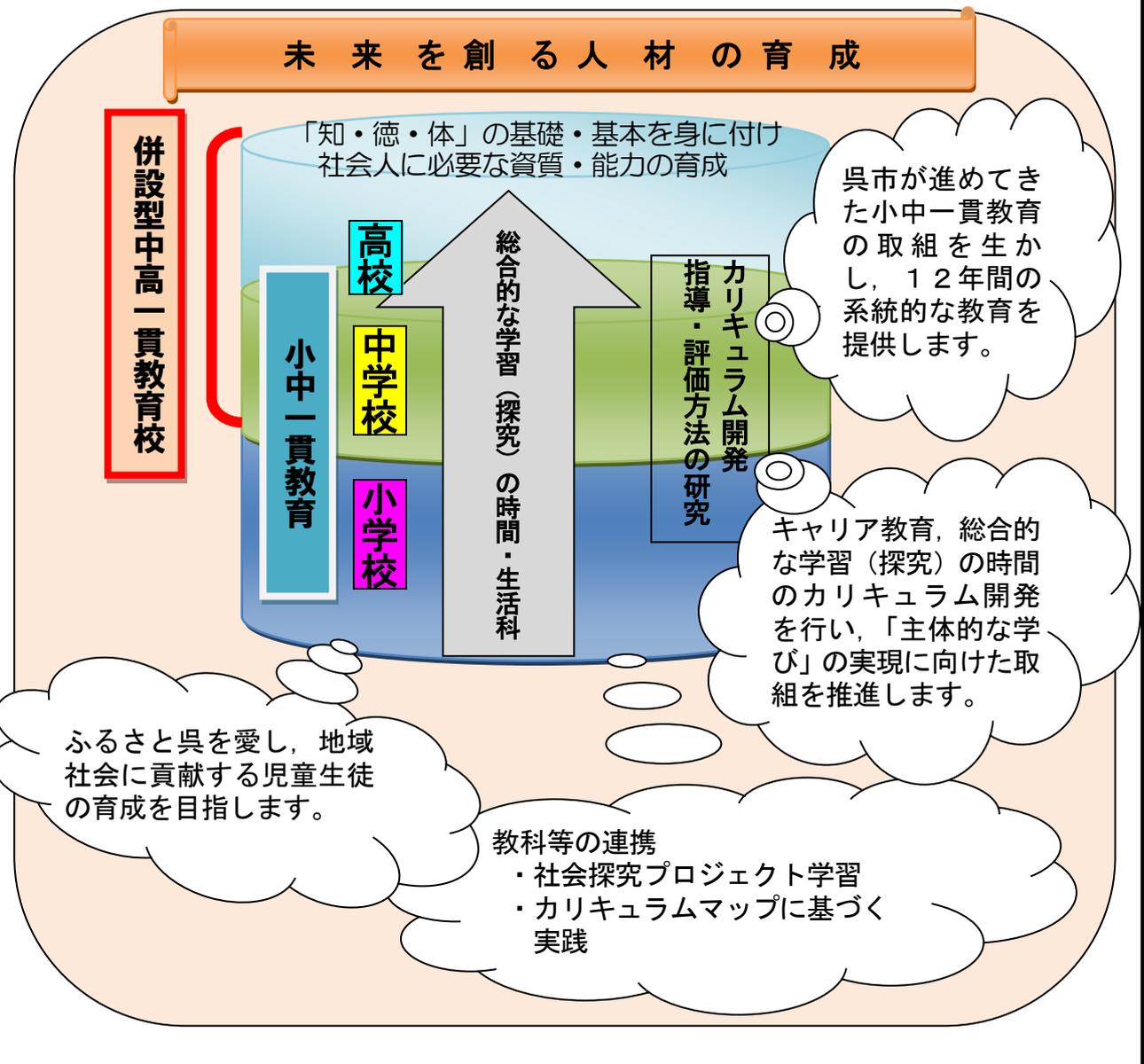
同校は、創立118年を迎える県内でも有数の伝統校です。また、総合的な学習（探究）の時間のパイロット校として実績を上げ、カリキュラム開発を行う県内のリーディング校としての使命が与えられている学校でもあります。

進学実績についても、難関国立大学・私立大学への高い合格率を誇る進学校であり、卒業生には、政財界を始め、国内外の様々な分野で活躍する人材を多く輩出しています。

なお、同校は、グローバル社会をリードし、地域社会に貢献しようとする気概を持った質実剛健な生徒を育成することを標ぼうしており、当該校に中等部を併設し、中高一貫教育校とすることにより、市が進めてきた小中一貫教育の取組を生かし、系統的な教育を提供することができます。

また、令和5年度には、近隣の中学校3校を対象に、国語科、数学科及び英語科の計画的な乗り入れ授業を実施しました。

呉市に中高一貫教育校を設置することで期待される効果として、これまでの中学校・高等学校に加えて、生徒や保護者が中高一貫教育校も選択できるようになり、中等教育の多様化が図られます。また、全県から生徒が集まることにより、呉市の教育のレベルアップが図られます。さらに、多様な人材が輩出されることにより、人と情報の交流が生まれ、まちの活力や魅力向上につなげることができます。



## 25 学校教職員の定数確保に向けた取組の推進

教育委員会

### 提案の要旨

学校教職員の定数確保に向けた取組の推進をお願いします。

### 現状及び課題

公立小・中・義務教育学校の教職員定数については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」に基づき広島県教育委員会が策定した「広島県公立小・中・義務教育学校定数配当基準」によって、定数に見合う県費負担教職員が各学校に配置されることになっています。

しかし、実際に配置される正規採用教職員の数は定数を下回っており、その欠員を臨時的任用教職員で補充しなければならない状況があり、この臨時的任用教職員の数は、毎年70人前後で推移しています。

その人員の確保については、任命権者である広島県教育委員会ではなく、呉市教育委員会が行っている現状があり、対応に苦慮しています。

また、臨時的任用教職員が多く任用されていることが、会計年度任用職員の候補者の減少にも影響しており、中学校で授業を行う会計年度任用職員を確保することができないまま新年度をスタートすることがあるなど、学校運営に支障を来しています。

### 取組状況等

過去5年間、呉市教育委員会が確保しなければいけない定数内臨時的任用教職員及び会計年度任用職員（いずれも5月1日現在）の人数は次のとおりでした。

【定数内臨時的任用教職員】	令和元年度：小学校45人，中学校29人	計 74人
	令和2年度：小学校29人，中学校36人	計 65人
	令和3年度：小学校29人，中学校41人	計 70人
	令和4年度：小学校20人，中学校42人	計 62人
	令和5年度：小学校21人，中学校40人	計 61人

【会計年度任用職員】	令和元年度：小学校66人，中学校93人	計159人
	令和2年度：小学校77人，中学校91人	計168人
	令和3年度：小学校54人，中学校84人	計138人
	令和4年度：小学校65人，中学校78人	計143人
	令和5年度：小学校71人，中学校85人	計156人

呉市教育委員会では、臨時的任用教職員の確保に向け、次のような方法により、候補者の募集・選定をしています。

- ・ 市教委に履歴書が提出された候補者リストに基づく本人への打診
- ・ 県教委（教育事務所）及び他市町教育委員会との連携
- ・ 大学及び短期大学との連携
- ・ ハローワークでの求人
- ・ 市の広報誌（市政だより）への臨時教職員募集の掲載
- ・ 学校の管理職及び教職員からの情報提供
- ・ 退職者、早期退職者等への連絡
- ・ 市内の市民センター及び図書館への臨時教職員募集のパンフレットの設置等

## 提案の内容

### ○ 学校教職員の定数確保に向けた取組の推進

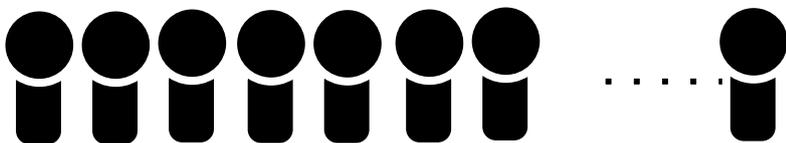
児童生徒に対する教育の提供を安定的に確保し、児童生徒、保護者等が不安を持つことがないように、正規採用教職員の確実な定数配置を早急に進めていただくようお願いします。

安心して学校生活をスタートするために



 正規採用教職員の定数配置

正規採用教職員

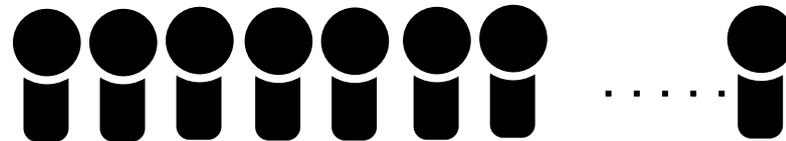


正規採用教職員



 正規採用教職員の欠員を臨時的任用教職員で補充

正規採用教職員



臨時的任用教職員



市町で確保（年々増加傾向）